

2023年11月20日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

家族愛に関する調査 2023

～配偶者・パートナーとのデートの理想と現実～

デートをしたいと思う回数は平均 12.4 回/年、実際にデートをした回数は平均 8.0 回/年

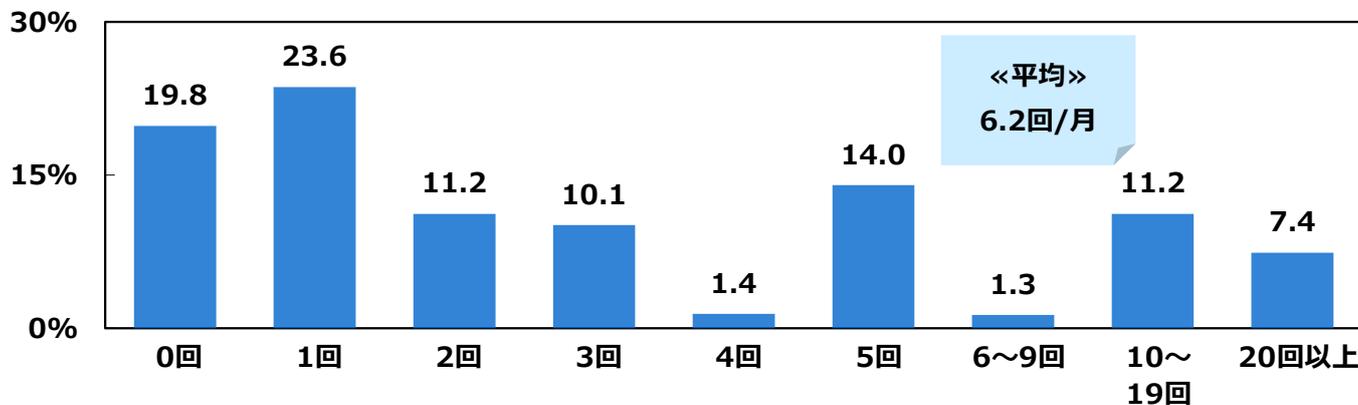
ジブラルタ生命保険株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：添田 毅司）は、20歳～69歳の既婚（事実婚含む）男女4,700名（男性2,350名 女性2,350名）を対象に、「家族愛に関する調査2023」をインターネットリサーチで実施し、集計結果を公開しました。（調査協力会社：ネットエイジア株式会社）

◆配偶者・パートナーに“ごめんね”と言っている回数 平均は 6.2 回/月
1 位「宮城県」12.4 回、2 位「沖縄県」9.8 回、3 位「徳島県」8.7 回

配偶者・パートナーに1か月に何回くらい“ごめんね”と言っているかを聞くと、平均は6.2回。

都道府県別にみると、配偶者・パートナーに1か月に“ごめんね”と言っている回数の平均は、1位「宮城県」（12.4回）、2位「沖縄県」（9.8回）、3位「徳島県」（8.7回）でした。

Q. 配偶者・パートナーに1か月に何回くらい“ごめんね”と言っている？



配偶者・パートナーに“ごめんね”と言っている回数（平均/月）

1位	宮城県	12.4回	4位	島根県	8.2回
			5位	東京都	7.9回
			⋮	⋮	⋮
2位	沖縄県	9.8回	42位	茨城県	4.2回
				岡山県	4.2回
			44位	熊本県	4.1回
3位	徳島県	8.7回	45位	福岡県	3.9回
			46位	広島県	3.8回
			47位	高知県	3.7回

◆ 配偶者・パートナーとのデートの理想と現実

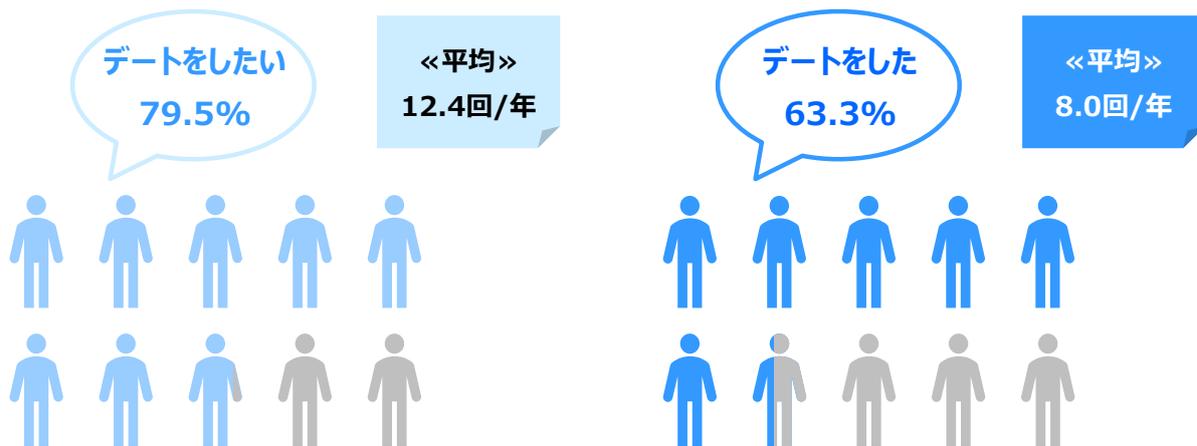
デートをしたいと思う回数は平均 12.4 回/年、実際にデートをした回数は平均 8.0 回/年

配偶者・パートナーとデートを1年間に何回くらいしたいと思うかを聞くと、平均は12.4回。また、デートをしたいと思う人の割合は79.5%でした。

他方、今年、配偶者・パートナーとデートを何回くらいしたかを聞くと、平均は8.0回、デートをした人の割合は63.3%でした。デートをしたいと思っていても控えている人が多いのではないのでしょうか。

Q. 配偶者・パートナーとデートを何回くらいしたい？

Q. 配偶者・パートナーとデートを何回くらいした？



◆ 家族愛が強いと思う芸能人

男性芸能人では「ヒロミさん」「杉浦太陽さん」、女性芸能人では「辻希美さん」「北斗晶さん」がそれぞれ2年連続でTOP2

“家族愛が強い”というイメージに合う芸能人を聞くと、男性芸能人では「ヒロミさん」がダントツとなり、2位「杉浦太陽さん」、3位「DAIGOさん」、女性芸能人では1位「辻希美さん」、2位「北斗晶さん」、3位「松本伊代さん」という結果に。

前回の調査結果とあわせてみると、男性芸能人では「ヒロミさん」「杉浦太陽さん」が2年連続でTOP2、女性芸能人では「辻希美さん」「北斗晶さん」が2年連続でTOP2となりました。

Q. “家族愛が強い”というイメージに合うと思う芸能人は？

男性芸能人	
2022年	2023年
1位 ヒロミ 400名	1位 ヒロミ 702名
2位 杉浦太陽 330名	2位 杉浦太陽 285名
3位 つるの剛士 244名	3位 DAIGO 188名
4位 木村拓哉 174名	4位 つるの剛士 163名
5位 高橋英樹 154名	5位 木村拓哉 108名

女性芸能人	
2022年	2023年
1位 辻希美 642名	1位 辻希美 574名
2位 北斗晶 256名	2位 北斗晶 270名
3位 杏 138名	3位 松本伊代 205名
4位 榊原郁恵 106名	4位 北川景子 202名
5位 工藤静香 94名	5位 藤本美貴 117名

※2022年調査：『家族愛に関する調査2022』（2022年12月14日発表）

https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20221214.pdf

調査結果 index

◆家族観について

……p.6

- ・自分にとって“家族”とはどのような存在？ 1位「心の支えになる存在」2位「助け合える存在」3位「安心できる存在」

◆家族関係について

……p.7～16

- ・「家族のグループLINEがある」全体の58%、都道府県別の1位は鹿児島県
- ・「配偶者・パートナーとSNSでつながっている」全体の72%、都道府県別の1位は長崎県
- ・「子どもとSNSでつながっている」子どもがいる人の51%、都道府県別の1位は山形県
- ・「定期的に家族会議を行っている」全体の22%、都道府県別の1位は埼玉県
- ・「定期的に家族へ手紙を書いている」全体の8%、都道府県別の1位は東京都
- ・配偶者・パートナーからどのように呼ばれたい？ 男性1位「名前+くん・さん」、女性1位「名前の呼び捨て」
- ・子どもからの呼ばれ方 男性1位「パパ」、女性1位「ママ」
「“パパ”と呼ばれている」のが最も多いのは埼玉県、「“ママ”と呼ばれている」のが最も多いのは宮城県
- ・普段、家族と一緒に楽しんでいること 1位「外食」2位「テレビ視聴」3位「旅行」4位「ショッピング」5位「ドライブ」
30代では「散歩」「ゲーム」が高い傾向
- ・今後、家族と一緒に楽しみたいこと 1位「旅行」2位「外食」3位「ショッピング」4位「ドライブ」5位「テレビ視聴」
女性では「旅行」「ショッピング」「散歩」「料理・お菓子作り」が高い傾向
- ・家族レジャーにおすすめだと思う、自身の居住都道府県内にあるレジャースポット
千葉県「東京ディズニーランド」、三重県「ナガシマスパーランド」、大阪府「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」、
和歌山県「アドベンチャーワールド」、長崎県「ハウステンボス」など

◆家族愛について

……p.17～19

- ・自身の家族愛を100点満点で評価すると？ 全体平均は76.7点、前回調査から3.1点低い結果に
自己評価が高い都道府県 男性では1位「宮崎県」2位「高知県」、女性では1位「沖縄県」2位「長崎県」
- ・この一年で、家族愛を実感したエピソード
「幸せなときも辛いときも、いつもそばにいて支えてくれる」「結婚30周年のお祝いを盛大にしてくれた」
「仕事で嫌なことがあっても、いつも優しく笑顔にさせてくれる」「仕事の忙しさをみて子どもが気遣ってくれた」
「旅行をしたとき、楽しくて幸せすぎてずっと笑っていた」といった家族愛溢れるエピソードが多数
- ・家族愛を深めるために欠かせないと思うこと
1位「普段から会話する」2位「家族で団らん・食事する」3位「家族間で思いやりを持つ」
- ・家族愛を深めるために実践できていること 1位「家族で団らん・食事する」
「家族間で思いやりを持つ」や「感謝の言葉を伝える」は大切だと思っても行動に移せていない人が多い傾向

◆配偶者・パートナーとのコミュニケーションについて

……p.20～37

- ・配偶者・パートナーとのデートの理想と現実
デートをしたいと思う回数は平均12.4回/年、実際にデートをした回数は平均8.0回/年
- ・配偶者・パートナーとしているデート 1位「外食」2位「ショッピング」3位「ドライブ」4位「散歩」5位「映画鑑賞」

- ・今年、配偶者・パートナーに“愛の言葉”を伝えた回数 平均は26.0回
1位「奈良県」45.0回、2位「茨城県」「京都府」43.0回、4位「福岡県」42.5回、5位「大阪府」40.5回
- ・配偶者・パートナーへの“愛の言葉”の伝え方 「直接面と向かって」がダントツ、2位「メッセージアプリ」で3位「電話で」
- ・配偶者・パートナーに“ありがとう”と言っている回数 平均は4.2回/日、1位は福島県で6.3回/日
- ・今年起きた夫婦喧嘩・パートナーとの喧嘩の回数 平均は10.8回、1位は青森県で18.8回
- ・配偶者・パートナーに“ごめんね”と言っている回数 平均は6.2回/月、1位は宮城県で12.4回/月
- ・配偶者・パートナーに対して“イライラ”することがあるもの 男性1位「愚痴が多い」、女性1位「スマホばかり見ている」
- ・配偶者・パートナーとの家事の分担割合
「夫・男性パートナーのほうが大きい」11%、「妻・女性パートナーのほうが大きい」75%
- ・「配偶者・パートナーとの家事の分担状況に満足している」 男性86%、女性60%
満足度が最も高いのは男性では奈良県、女性では大阪府
- ・配偶者・パートナーとの家事の分担状況について満足している理由
「互いにちょうどよいと考えている」「臨機応変に分担できている」「率先してやってくれる」「助けてくれている」など
- ・配偶者・パートナーとの家事の分担状況について不満を感じている理由
「不公平感がある」「もっと頼ってほしい」「とにかく何もやってくれない」「時々、自分が家政婦のように感じる」など
- ・配偶者・パートナーとの育児・子育ての分担割合
「夫・男性パートナーのほうが大きい」8%、「妻・女性パートナーのほうが大きい」74%
- ・「配偶者・パートナーとの育児・子育ての分担状況に満足している」 男性89%、女性58%
満足度が最も高いのは男性では宮崎県、女性では静岡県
- ・配偶者・パートナーとの育児・子育ての分担状況について満足している理由
「育児が楽しい」「お互いに助け合っている」「できる範囲でやってくれる」「自ら育児に参加してくれている」など
- ・配偶者・パートナーとの育児・子育ての分担状況について不満を感じている理由
「なかなか自分の時間が取れない」「仕事が忙しくて全くできていない」「もう少し子どもと関わってほしい」など

◆子どもの名付けと子育てについて

.....p.38~41

- ・子どもの名前を決める際に、名前候補を出した人は？
20代・30代では「妻・女性パートナー」、40代以上では「夫・男性パートナー」が1位
- ・子どもの名前を決める際に重視したこと 1位「音の響き」2位「姓名判断（画数）」3位「言葉・漢字の意味」
- ・“子育てあるある” 子どもが幼いときに、自身が経験したことがあるものは？ 1位「我が子が一番だと思う」
2位「子どもが好きなものに詳しくなる」3位「どんなに疲れていても子どもの顔を見ると疲れが吹き飛ば」
男性では「『二人だけの秘密だよ』と約束したことを子どもにバラされる」がTOP10にランクイン

◆親への感謝について

.....p.42

- ・親に感謝していること 1位「働いて養ってくれた」2位「産んでくれた」3位「食事や生活の世話をしてくれた」
男性では「色々な経験をさせてくれた」「自分を理解してくれた」、
女性では「心の支えになってくれた」「習い事や塾に通わせてくれた」がTOP10にランクイン

◆親孝行について

……p.43～44

- ・これまでに自分が親にした親孝行 1位「プレゼントをする」、女性では「話し相手になる」が高い傾向
- ・これから親にしたいと思う親孝行 20代では「一緒に旅行をする」、30代では「孫の顔を見せる」が1位
- ・子どもにしてほしい親孝行 男性1位「元気な姿を見せてくれる」、女性1位「話し相手になってくれる」

◆“家族愛”とエンタメ

……p.45～47

- ・家族愛が強いと思う芸能人 男性芸能人1位「ヒロミさん」、女性芸能人1位「辻希美さん」
- ・家族愛が強いと思うスポーツ選手 男性選手1位「長友佑都さん」、女性選手1位「北斗晶さん」
- ・家族愛が強いと思うアニメキャラ 男性キャラ1位「竈門炭治郎」、女性キャラ1位「フグ田サザエ」
- ・家族愛を感じる曲 「家族になろうよ」がダントツ、2位「home」3位「ありがとう」4位「虹」5位「アンマー」「糸」



本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

■本リリースに関するお問い合わせ先

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム【Tel】03-5501-6563

アンケート調査結果

◆家族観について

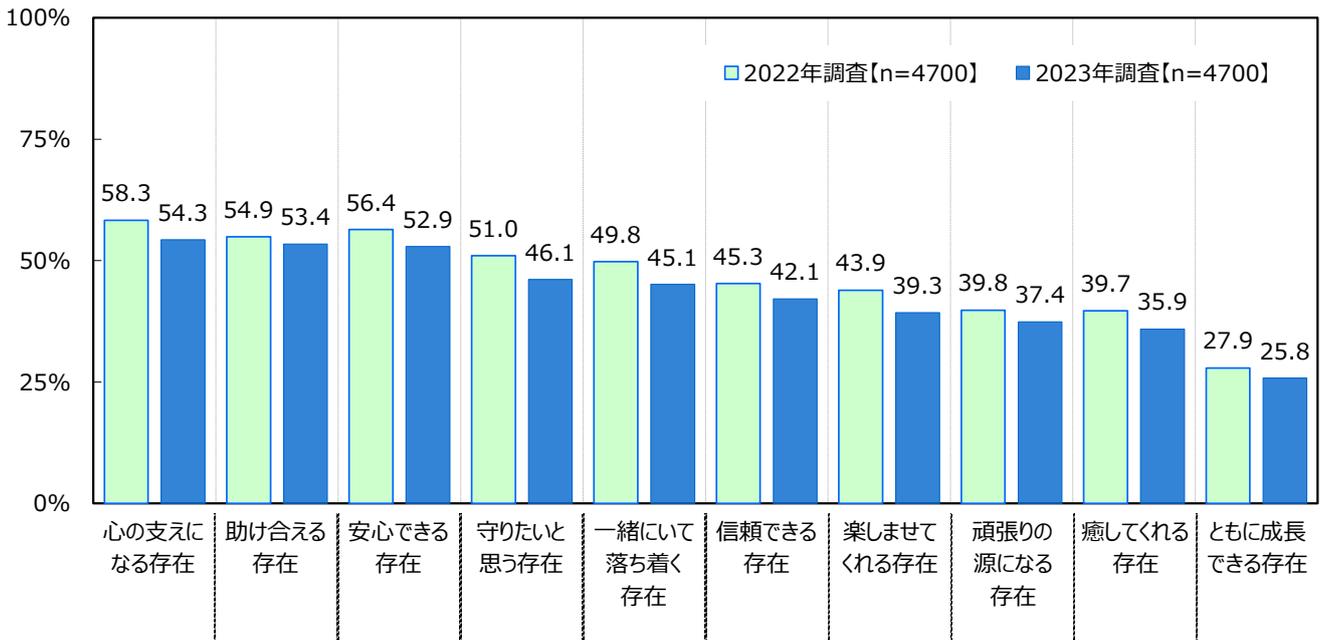
・自分にとって“家族”とはどのような存在？ 1位「心の支えになる存在」2位「助け合える存在」3位「安心できる存在」

全国の20歳～69歳の既婚（事実婚含む）男女4,700名（全回答者）に対し、家族観について質問しました。

全回答者（4,700名）に、自分にとって“家族”とはどのような存在か聞いたところ、「心の支えになる存在」（54.3%）が最も高くなりました。家族の存在が精神的な支えになっていると感じる人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「助け合える存在」（53.4%）、「安心できる存在」（52.9%）、「守りたいと思う存在」（46.1%）、「一緒にいて落ち着く存在」（45.1%）でした。

前回の調査結果と比較すると、「心の支えになる存在」は2年連続1位（2022年58.3%、2023年54.3%）でした。

◆自分にとって“家族”とはどのような存在か（複数回答形式） ※上位10位までを表示



※2022年調査：『家族愛に関する調査2022』（2022年12月14日発表）

https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20221214.pdf

◆家族関係について

・「家族のグループLINEがある」全体の58%、都道府県別の1位は鹿児島県

・「配偶者・パートナーとSNSでつながっている」全体の72%、都道府県別の1位は長崎県

・「子どもとSNSでつながっている」子どもがいる人の51%、都道府県別の1位は山形県

家族関係について質問しました。

全回答者（4,700名）に、家族とのつながりについて聞いたところ、「家族のグループLINEがある」にあてはまる人の割合は57.7%となりました。コミュニケーションをとる際のツールとしてLINEを活用している家族が多いようです。

都道府県別にみると、あてはまる人の割合は、1位は鹿児島県（73.0%）、2位は長崎県と宮崎県（いずれも68.0%）、4位は滋賀県（67.0%）、5位は新潟県と福岡県（いずれも65.0%）となり、TOP5には九州の県が多く挙がりました。

◆家族とのつながりについて、自身にあてはまるか（単一回答形式） ※あてはまる人の割合を表示

≪家族のグループLINEがある 全体：57.7%≫

各都道府県【n=100】

		%			%			%			%	
1位	鹿児島県	73.0	11位	千葉県	61.0	23位	大分県	56.0	25位	沖縄県	55.0	
				長野県	61.0			北海道	55.0	37位	徳島県	54.0
2位	長崎県	68.0		岐阜県	61.0	25位	岩手県	55.0	38位	富山県	53.0	
	宮崎県	68.0	15位	三重県	60.0			山形県	55.0		京都府	53.0
4位	滋賀県	67.0			広島県		60.0		福島県	55.0	40位	宮城県
5位	新潟県	65.0	17位	東京都	59.0			茨城県	55.0			秋田県
	福岡県	65.0			神奈川県		58.0		栃木県	55.0		愛知県
7位	埼玉県	63.0	18位	石川県	58.0			奈良県	55.0	45位	鳥取県	52.0
	大阪府	63.0			福井県		58.0		島根県		55.0	
9位	山梨県	62.0	22位	兵庫県	58.0			岡山県	55.0		群馬県	51.0
	熊本県	62.0			愛媛県		57.0		香川県	55.0		静岡県
11位	青森県	61.0	23位	山口県	56.0			高知県	55.0		和歌山県	51.0

「配偶者・パートナーとSNSでつながっている」にあてはまる人の割合は72.2%となりました。

都道府県別にみると、あてはまる人の割合は、長崎県（84.0%）が最も高くなり、神奈川県（82.0%）、岡山県と熊本県（いずれも79.0%）が続きました。

◆家族とのつながりについて、自身にあてはまるか（単一回答形式） ※あてはまる人の割合を表示

「配偶者・パートナーとSNSでつながっている 全体：72.2%」

各都道府県【n=100】

順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
1位	長崎県	84.0	11位	奈良県	76.0	23位	香川県	73.0	35位	茨城県	68.0
2位	神奈川県	82.0		山口県	76.0	大分県	73.0	三重県		68.0	
3位	岡山県	79.0		宮崎県	76.0	埼玉県	72.0	島根県		68.0	
5位	熊本県	79.0	16位	鹿児島県	76.0	26位	岐阜県	72.0	40位	沖縄県	68.0
	東京都	78.0		青森県	75.0	高知県	72.0	千葉県		67.0	
6位	新潟県	77.0		山形県	75.0	29位	山梨県	71.0	42位	静岡県	67.0
	富山県	77.0	兵庫県	75.0	30位	群馬県	70.0	栃木県		65.0	
	京都府	77.0	和歌山県	75.0	福岡県	70.0	愛知県	65.0			
	広島県	77.0	宮城県	74.0	佐賀県	70.0	鳥取県	65.0			
11位	愛媛県	77.0	20位	大阪府	74.0	33位	石川県	69.0	45位	秋田県	63.0
	長野県	76.0	23位	徳島県	74.0	35位	滋賀県	69.0	46位	岩手県	61.0
				福井県	73.0		北海道	68.0	47位	福島県	57.0

子どもがいる方（3,749名）に、子どもとのSNSでのつながりについて聞いたところ、「子どもとSNSでつながっている」にあてはまる人の割合は50.6%となりました。

都道府県別にみると、あてはまる人の割合は、山形県（61.3%）が最も高くなり、福井県（60.8%）、徳島県（60.3%）が続きました。

◆家族とのつながりについて、自身にあてはまるか（単一回答形式） ※あてはまる人の割合を表示

「子どもとSNSでつながっている 全体：50.6%」 対象：子どもがいる方

順位	都道府県 (n)	%	順位	都道府県 (n)	%	順位	都道府県 (n)	%	順位	都道府県 (n)	%
1位	山形県 (n=75)	61.3	12位	京都府 (n=76)	53.9	24位	福岡県 (n=82)	51.2	34位	千葉県 (n=77)	46.8
2位	福井県 (n=79)	60.8	13位	広島県 (n=78)	53.8	26位	佐賀県 (n=80)	51.2	37位	茨城県 (n=78)	46.2
3位	徳島県 (n=78)	60.3	14位	岡山県 (n=86)	53.5	27位	高知県 (n=65)	50.8	38位	岩手県 (n=85)	45.9
4位	愛媛県 (n=70)	60.0	15位	東京都 (n=79)	53.2	27位	栃木県 (n=80)	50.0	39位	鳥取県 (n=79)	44.3
5位	新潟県 (n=83)	59.0	16位	鹿児島県 (n=85)	52.9	28位	滋賀県 (n=85)	49.4	39位	島根県 (n=88)	44.3
6位	青森県 (n=75)	58.7	17位	長崎県 (n=84)	52.4		香川県 (n=87)	49.4	41位	沖縄県 (n=84)	44.0
7位	大分県 (n=82)	57.3	18位	和歌山県 (n=88)	52.3	宮崎県 (n=85)	49.4	42位	岐阜県 (n=83)	43.4	
8位	熊本県 (n=83)	56.6	19位	大阪府 (n=73)	52.1	31位	三重県 (n=75)	49.3	43位	福島県 (n=80)	42.5
9位	富山県 (n=78)	56.4	20位	北海道 (n=75)	52.0	32位	神奈川県 (n=74)	48.6	44位	奈良県 (n=79)	41.8
10位	長野県 (n=83)	55.4	21位	宮城県 (n=81)	51.9	33位	山梨県 (n=76)	47.4	45位	静岡県 (n=83)	41.0
11位	埼玉県 (n=82)	54.9	23位	兵庫県 (n=79)	51.9	34位	秋田県 (n=77)	46.8	46位	石川県 (n=82)	40.2
				山口県 (n=76)	51.3		群馬県 (n=79)	46.8	47位	愛知県 (n=78)	39.7

・「定期的に家族会議を行っている」全体の22%、都道府県別の1位は埼玉県

・「定期的に家族へ手紙を書いている」全体の8%、都道府県別の1位は東京都

全回答者（4,700名）に、家族とのコミュニケーションについて聞いたところ、「定期的に家族会議を行っている」にあてはまる人の割合は22.2%となりました。定期的に家族が顔を合わせて、近況を伝え合ったり、抱えている課題を相談したりする機会を設けている人は少なくないようです。

都道府県別にみると、あてはまる人の割合は、埼玉県（32.0%）が最も高くなり、東京都と大阪府、長崎県（いずれも31.0%）が続きました。

◆家族とのつながりについて、自身にあてはまるか（単一回答形式） ※あてはまる人の割合を表示

◀定期的に家族会議を行っている 全体：22.2%▶

各都道府県【n=100】

順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
1位	埼玉県	32.0	12位	栃木県	25.0	21位	岡山県	22.0	33位	長野県	19.0
2位	東京都	31.0	14位	熊本県	25.0	25位	岩手県	21.0	39位	岐阜県	19.0
	大阪府	31.0		宮城県	24.0		山梨県	21.0		奈良県	19.0
5位	長崎県	31.0	19位	島根県	24.0	28位	広島県	21.0	41位	北海道	18.0
	兵庫県	30.0		徳島県	24.0		秋田県	20.0		京都府	18.0
7位	沖縄県	30.0	21位	愛媛県	24.0	33位	三重県	20.0	42位	千葉県	17.0
	新潟県	28.0		高知県	24.0		山口県	20.0		神奈川県	16.0
8位	青森県	27.0	富山県	23.0	香川県	20.0	宮崎県	20.0	45位	和歌山県	16.0
9位	福岡県	26.0	鳥取県	23.0	福島県	19.0	福島県	19.0	46位	大分県	16.0
	佐賀県	26.0	茨城県	22.0	群馬県	19.0	石川県	19.0	47位	愛知県	15.0
	鹿児島県	26.0	静岡県	22.0	滋賀県	22.0				福井県	14.0
										山形県	13.0

◀定期的に家族へ手紙を書いている▶にあてはまる人の割合は7.7%となりました。

都道府県別にみると、あてはまる人の割合は、東京都（14.0%）が最も高くなり、岩手県と秋田県（いずれも12.0%）が続きました。

◆家族とのつながりについて、自身にあてはまるか（単一回答形式） ※あてはまる人の割合を表示

◀定期的に家族へ手紙を書いている 全体：7.7%▶

各都道府県【n=100】

順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	
1位	東京都	14.0	8位	長野県	10.0	17位	高知県	9.0	35位	愛知県	5.0	
2位	岩手県	12.0		岡山県	10.0	25位	富山県	8.0		長崎県	5.0	
	秋田県	12.0		広島県	10.0		滋賀県	8.0		熊本県	5.0	
4位	青森県	11.0		徳島県	10.0	27位	山梨県	7.0		宮崎県	5.0	
	京都府	11.0	福岡県	10.0	奈良県		7.0	鹿児島県	5.0			
	大阪府	11.0	栃木県	9.0	香川県		7.0	三重県	4.0			
8位	山口県	11.0	群馬県	9.0	31位	愛媛県	7.0	41位	島根県	4.0		
	宮城県	10.0	千葉県	9.0		岐阜県	6.0	佐賀県	4.0			
	山形県	10.0	神奈川県	9.0		静岡県	6.0	44位	北海道	3.0		
	埼玉県	10.0	石川県	9.0		兵庫県	6.0	46位	茨城県	3.0		
	新潟県	10.0	和歌山県	9.0	大分県	6.0				福井県	2.0	
			鳥取県	9.0	35位	福島県	5.0				沖縄県	2.0

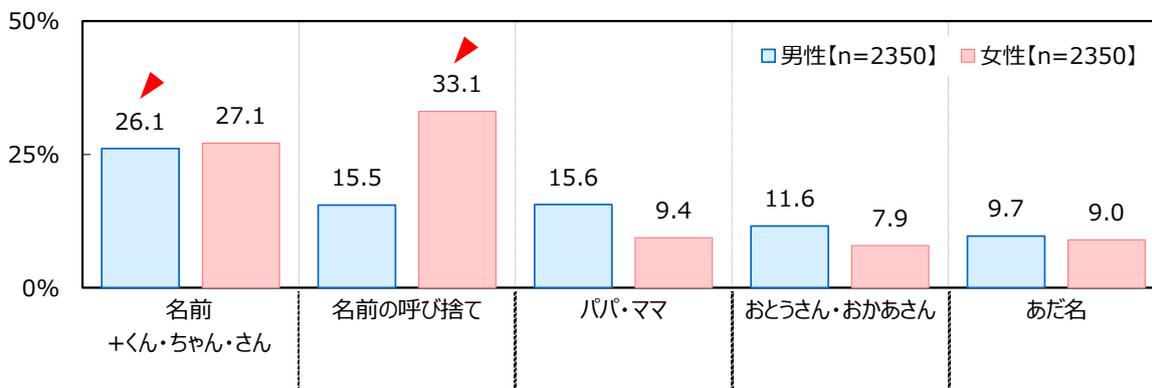
・配偶者・パートナーからどのように呼ばれたい？ 男性 1 位「名前+くん・さん」、女性 1 位「名前の呼び捨て」

次に、家族からの呼ばれ方について質問しました。

全回答者（4,700 名）に、希望する配偶者・パートナーからの呼ばれ方を聞いたところ、男性では「名前+くん・さん」（26.1%）が最も高くなり、「パパ」（15.6%）、「名前の呼び捨て」（15.5%）、「おとうさん」（11.6%）、「あだ名」（9.7%）が続きました。

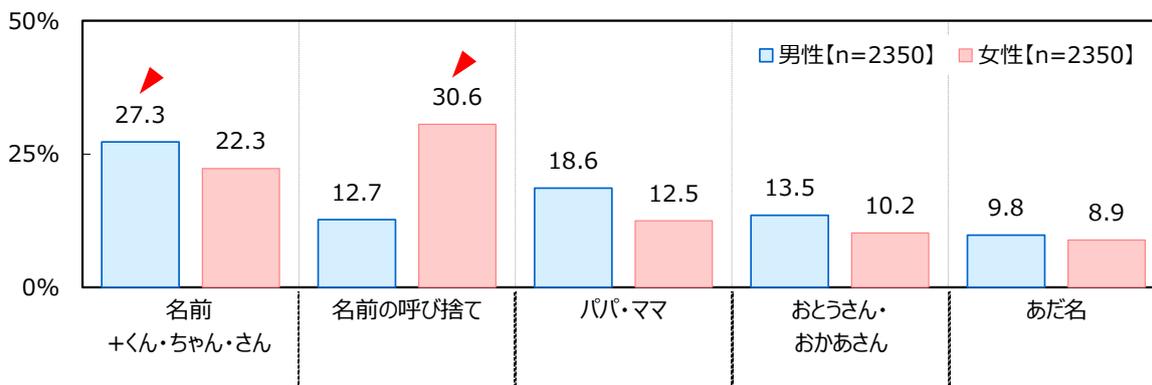
他方、女性では「名前の呼び捨て」（33.1%）が最も高くなり、「名前+ちゃん・さん」（27.1%）、「ママ」（9.4%）、「あだ名」（9.0%）、「おかあさん」（7.9%）が続きました。

◆希望する配偶者・パートナーからの呼ばれ方（単一回答形式） ※上位5位までを表示



実際にされている配偶者・パートナーからの呼ばれ方を聞いたところ、男性では「名前+くん・さん」（27.3%）、「女性では「名前の呼び捨て」（30.6%）が最も高くなり、男性・女性ともに“希望する呼ばれ方”の1位と“実際にされている呼ばれ方”の1位が同じ結果でした。

◆実際にされている配偶者・パートナーからの呼ばれ方（単一回答形式） ※上位5位までを表示



実際にされている配偶者・パートナーからの呼ばれ方を都道府県別にみると、男性では多くの都道府県で「名前+くん・さん」が 1 位となり、北海道や東京都では「名前の呼び捨て」、岩手県や宮城県などでは「パパ」、秋田県や福井県などでは「おとうさん」、兵庫県では「あだ名」が 1 位でした。他方、女性ではすべての都道府県で「名前の呼び捨て」と「名前+ちゃん・さん」のいずれかが 1 位でした。

◆実際にされている配偶者・パートナーからの呼ばれ方（単一回答形式） ※都道府県別の1位を表示

	男性
北海道	名前の呼び捨て
青森県	名前+くん・さん
岩手県	パパ
宮城県	パパ
秋田県	おとうさん
山形県	名前+くん・さん
福島県	名前+くん・さん
茨城県	パパ
栃木県	名前+くん・さん
群馬県	パパ
埼玉県	名前+くん・さん
千葉県	名前+くん・さん
東京都	名前の呼び捨て
神奈川県	名前+くん・さん
新潟県	名前+くん・さん
富山県	名前+くん・さん
石川県	名前+くん・さん
福井県	おとうさん
山梨県	名前+くん・さん
長野県	おとうさん
岐阜県	名前+くん・さん
静岡県	名前+くん・さん
愛知県	名前+くん・さん
三重県	名前+くん・さん
滋賀県	名前+くん・さん
京都府	名前+くん・さん
大阪府	名前+くん・さん
兵庫県	名前+くん・さん / あだ名
奈良県	名前+くん・さん
和歌山県	名前+くん・さん
鳥取県	名前+くん・さん
島根県	名前+くん・さん
岡山県	名前+くん・さん
広島県	名前+くん・さん
山口県	名前+くん・さん
徳島県	名前+くん・さん
香川県	名前+くん・さん
愛媛県	名前+くん・さん
高知県	名前+くん・さん
福岡県	名前+くん・さん
佐賀県	名前+くん・さん
長崎県	名前+くん・さん
熊本県	名前+くん・さん
大分県	名前+くん・さん
宮崎県	名前+くん・さん
鹿児島県	名前+くん・さん
沖縄県	名前+くん・さん

	女性
北海道	名前の呼び捨て
青森県	名前の呼び捨て
岩手県	名前の呼び捨て
宮城県	名前+ちゃん・さん
秋田県	名前+ちゃん・さん
山形県	名前+ちゃん・さん
福島県	名前の呼び捨て
茨城県	名前の呼び捨て
栃木県	名前+ちゃん・さん
群馬県	名前の呼び捨て
埼玉県	名前の呼び捨て
千葉県	名前の呼び捨て
東京都	名前の呼び捨て
神奈川県	名前の呼び捨て
新潟県	名前の呼び捨て
富山県	名前の呼び捨て
石川県	名前の呼び捨て
福井県	名前の呼び捨て
山梨県	名前の呼び捨て
長野県	名前+ちゃん・さん
岐阜県	名前の呼び捨て
静岡県	名前の呼び捨て
愛知県	名前の呼び捨て
三重県	名前の呼び捨て
滋賀県	名前の呼び捨て
京都府	名前の呼び捨て
大阪府	名前の呼び捨て
兵庫県	名前の呼び捨て / 名前+ちゃん・さん
奈良県	名前の呼び捨て / 名前+ちゃん・さん
和歌山県	名前の呼び捨て
鳥取県	名前の呼び捨て
島根県	名前の呼び捨て
岡山県	名前の呼び捨て
広島県	名前+ちゃん・さん
山口県	名前の呼び捨て / 名前+ちゃん・さん
徳島県	名前の呼び捨て / 名前+ちゃん・さん
香川県	名前の呼び捨て
愛媛県	名前の呼び捨て
高知県	名前+ちゃん・さん
福岡県	名前の呼び捨て
佐賀県	名前の呼び捨て
長崎県	名前の呼び捨て
熊本県	名前+ちゃん・さん
大分県	名前の呼び捨て
宮崎県	名前の呼び捨て
鹿児島県	名前の呼び捨て
沖縄県	名前の呼び捨て

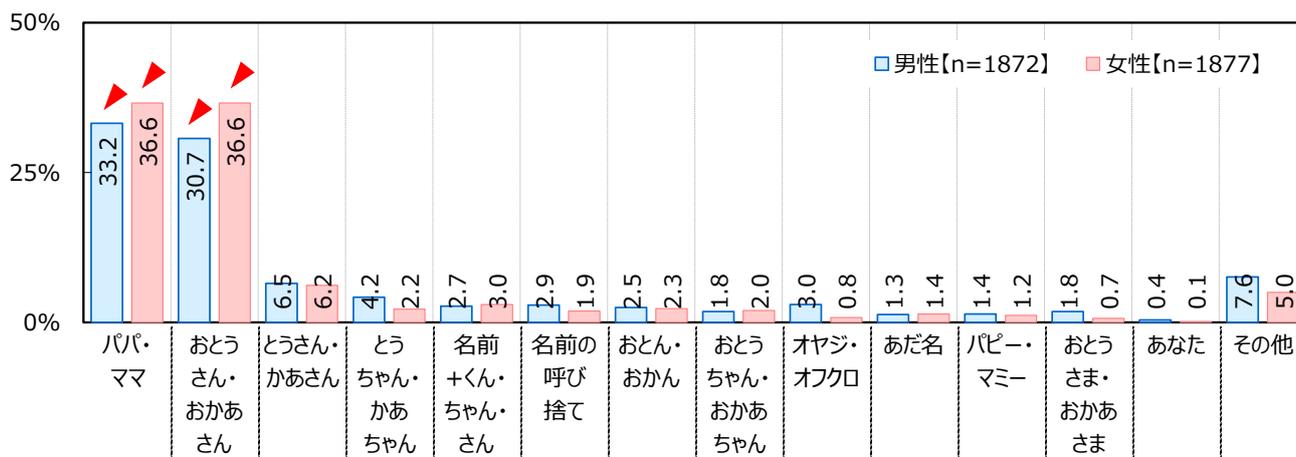
・子どもからの呼ばれ方 男性1位「パパ」、女性1位「ママ」

「“パパ”と呼ばれている」のが最も多いのは埼玉県、「“ママ”と呼ばれている」のが最も多いのは宮城県

また、子どもがいる方（3,749名）に、希望する子どもからの呼ばれ方を聞いたところ、男性では「パパ」（33.2%）が最も高くなり、「おとうさん」（30.7%）、「とうさん」（6.5%）、「とうちゃん」（4.2%）、「オヤジ」（3.0%）が続きました。

他方、女性では「ママ」と「おかあさん」（いずれも36.6%）が突出して高くなり、「かあさん」（6.2%）、「名前+ちゃん・さん」（3.0%）、「おかん」（2.3%）が続きました。

◆希望する子どもからの呼ばれ方（単一回答形式） 対象：子どもがいる方



実際にされている子どもからの呼ばれ方を聞いたところ、男性では「パパ」（40.7%）が突出して高くなり、「おとうさん」（25.2%）、「とうさん」（5.8%）、「とうちゃん」（3.6%）、「名前の呼び捨て」（2.7%）が続きました。

他方、女性では「ママ」（40.3%）が最も高くなり、「おかあさん」（29.8%）、「かあさん」（5.8%）、「おかん」（3.1%）、「かあちゃん」（2.8%）が続きました。

◆実際にされている子どもからの呼ばれ方（単一回答形式） 対象：子どもがいる方



実際にされている子どもからの呼ばれ方の TOP2 である「パパ・ママ」「おとうさん・おかあさん」について都道府県別にみると、「パパ」が最も高くなったのは埼玉県（65.0%）、「ママ」が最も高くなったのは宮城県（59.5%）、「おとうさん」が最も高くなったのは福井県（45.0%）、「おかあさん」が最も高くなったのは滋賀県（43.2%）でした。

◆実際にされている子どもからの呼ばれ方（単一回答形式）

※上位10位までを表示 対象：子どもがいる方

《パパ・ママ》

男性			女性		
		%			%
1位	埼玉県 (n=40)	65.0	1位	宮城県 (n=42)	59.5
2位	東京都 (n=40)	55.0	2位	東京都 (n=39)	59.0
3位	山形県 (n=34)	52.9	3位	埼玉県 (n=42)	54.8
4位	茨城県 (n=41)	51.2	4位	山梨県 (n=36)	52.8
5位	群馬県 (n=44)	50.0	5位	群馬県 (n=35)	51.4
	静岡県 (n=40)	50.0	6位	栃木県 (n=40)	50.0
8位	大阪府 (n=38)	50.0	7位	茨城県 (n=37)	48.6
	富山県 (n=38)	47.4		神奈川県 (n=37)	48.6
9位	新潟県 (n=41)	46.3	9位	秋田県 (n=42)	47.6
	宮崎県 (n=41)	46.3	10位	山口県 (n=40)	47.5

◆実際にされている子どもからの呼ばれ方（単一回答形式）

※上位10位までを表示 対象：子どもがいる方

《おとうさん・おかあさん》

男性			女性		
		%			%
1位	福井県 (n=40)	45.0	1位	滋賀県 (n=44)	43.2
2位	鳥取県 (n=39)	43.6	2位	長崎県 (n=45)	42.2
3位	佐賀県 (n=40)	42.5	3位	鹿児島県 (n=41)	41.5
4位	鹿児島県 (n=44)	36.4	4位	福井県 (n=39)	41.0
5位	愛知県 (n=36)	36.1	5位	宮崎県 (n=44)	40.9
6位	長崎県 (n=39)	35.9	6位	沖縄県 (n=42)	40.5
7位	愛媛県 (n=35)	34.3	7位	鳥取県 (n=40)	40.0
8位	富山県 (n=38)	34.2		愛媛県 (n=35)	40.0
	京都府 (n=38)	34.2	9位	福岡県 (n=43)	39.5
10位	大分県 (n=41)	34.1	10位	福島県 (n=38)	36.8
	奈良県 (n=41)	34.1			

・普段、家族と一緒に楽しんでいること 1位「外食」2位「テレビ視聴」3位「旅行」4位「ショッピング」5位「ドライブ」

30代では「散歩」「ゲーム」が高い傾向

・今後、家族と一緒に楽しみたいこと 1位「旅行」2位「外食」3位「ショッピング」4位「ドライブ」5位「テレビ視聴」

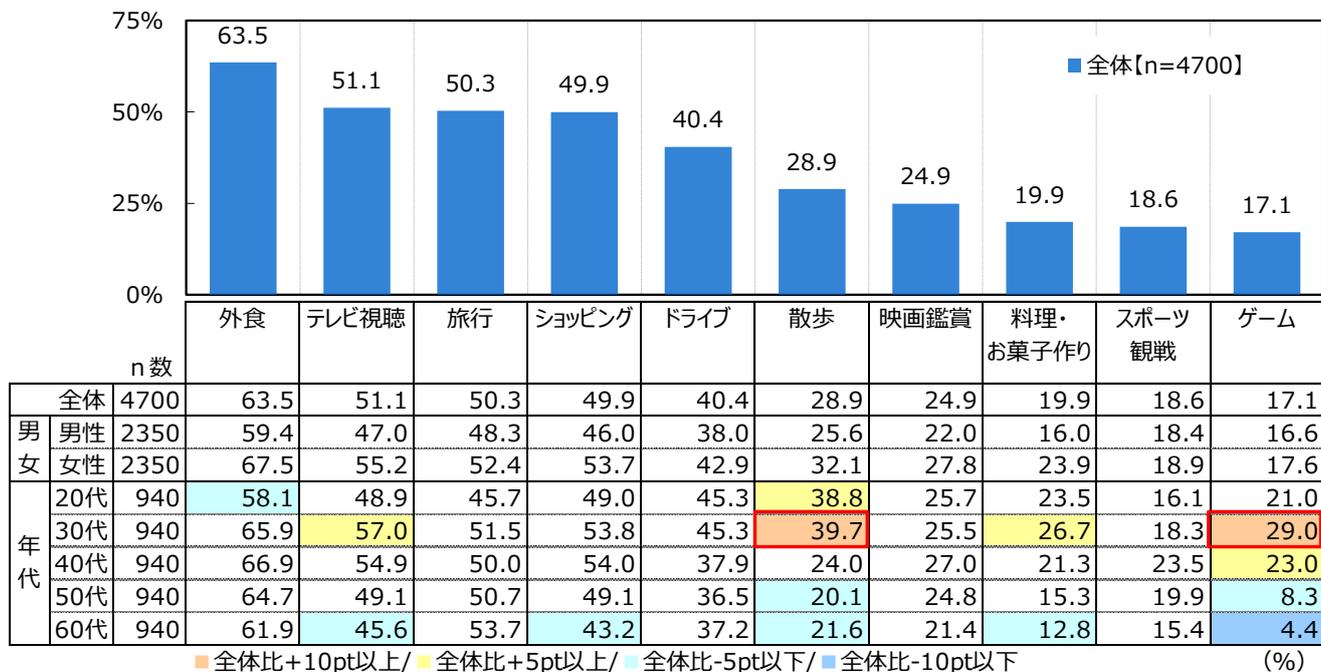
女性では「旅行」「ショッピング」「散歩」「料理・お菓子作り」が高い傾向

普段、家族とどのようなことを一緒に楽しんでいる人が多いのでしょうか。

全回答者（4,700名）に、普段、家族と一緒に楽しんでいることを聞いたところ、「外食」（63.5%）が最も高くなりました。お気に入りのお店に家族が集まって、食事やコミュニケーションを楽しんでいる人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「テレビ視聴」（51.1%）、「旅行」（50.3%）、「ショッピング」（49.9%）、「ドライブ」（40.4%）でした。

年代別にみると、30代では「散歩」が39.7%、「ゲーム」が29.0%と、全体と比べて10ポイント以上高くなりました。

◆普段、家族と一緒に楽しんでいること（複数回答形式） ※上位10位までを表示

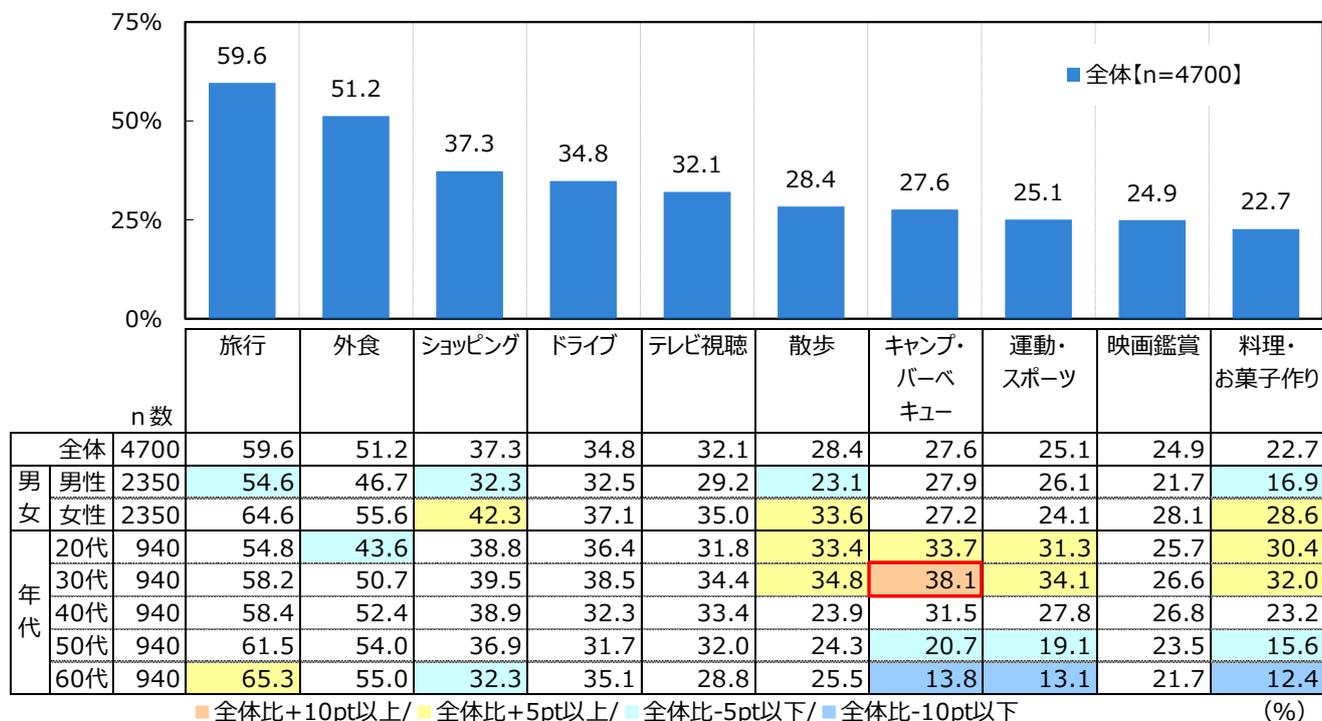


また、今後、家族と一緒に楽しみたいことを聞いたところ、「旅行」(59.6%)が最も高くなり、「外食」(51.2%)、「ショッピング」(37.3%)、「ドライブ」(34.8%)、「テレビ視聴」(32.1%)が続きました。「旅行」は“普段、家族と一緒に楽しんでいること”では3位だったのに対し、“今後、家族と一緒に楽しみたいこと”では1位となりました。新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類へ移行されて約半年が経過し、家族旅行を具体的に計画している人やこれから満喫したいと考えている人は増加傾向にあるのではないのでしょうか。

男女別にみると、女性では「旅行」が64.6%、「ショッピング」が42.3%、「散歩」が33.6%、「料理・お菓子作り」が28.6%と、男性(順に54.6%、32.3%、23.1%、16.9%)と比べて10ポイント以上高くなりました。

年代別にみると、30代では「キャンプ・バーベキュー」が38.1%と、全体と比べて10ポイント以上高くなりました。

◆今後、家族と一緒に楽しみたいこと (複数回答形式) ※上位10位までを表示



・家族レジャーにおすすめだと思ふ、自身の居住都道府県内にあるレジャースポット

千葉県「東京ディズニーランド」、三重県「ナガシマスパーランド」、大阪府「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」、和歌山県「アドベンチャーワールド」、長崎県「ハウステンボス」など

都道府県ごとのおすすめレジャースポットについて質問しました。

全回答者（4,700名）に、家族レジャーにおすすめだと思ふ、自身の居住都道府県内にあるレジャースポットを聞いたところ、北海道・東北では「旭川市 旭山動物園」（北海道）や「小岩井農場まきば園」（岩手県）、「スパリゾートハワイアンズ」（福島県）、関東では「国営ひたち海浜公園」（茨城県）や「東京ディズニーランド」（千葉県）、「多摩動物公園」（東京都）、北陸・甲信越では「新潟市水族館 マリンピア日本海」（新潟県）や「福井県立恐竜博物館」（福井県）、「富士急ハイランド」（山梨県）、東海では「世界淡水魚園水族館 アクア・トト ぎふ」（岐阜県）や「レゴランド・ジャパン・リゾート」（愛知県）、「ナガシマスパーランド」（三重県）、近畿では「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」（大阪府）や「ネスタリゾート神戸」（兵庫県）、「アドベンチャーワールド」（和歌山県）、中国・四国では「島根県立しまね海洋館アクアス」（島根県）や「あすたむらんど徳島」（徳島県）、「レオマリゾート」（香川県）、九州・沖縄では「海の中道海浜公園」（福岡県）や「ハウステンボス」（長崎県）、「沖縄美ら海水族館」（沖縄県）といったレジャースポットが各都道府県の1位でした。

◆家族レジャーにおすすめだと思ふ、自身の居住都道府県内にあるレジャースポット（自由回答形式） ※都道府県別の1位を表示
各都道府県【n=100】

北海道	旭川市 旭山動物園
青森県	十和田湖
岩手県	小岩井農場まきば園
宮城県	秋保温泉
秋田県	田沢湖
山形県	リナワールド
福島県	スパリゾートハワイアンズ
茨城県	国営ひたち海浜公園
栃木県	日光
群馬県	草津温泉
埼玉県	東武動物公園
千葉県	東京ディズニーランド
東京都	多摩動物公園
神奈川県	箱根
新潟県	新潟市水族館 マリンピア日本海
富山県	県民公園 太閤山ランド
石川県	兼六園
福井県	福井県立恐竜博物館
山梨県	富士急ハイランド
長野県	善光寺
岐阜県	世界淡水魚園水族館 アクア・トト ぎふ
静岡県	浜名湖パルパル
愛知県	レゴランド・ジャパン・リゾート
三重県	ナガシマスパーランド

滋賀県	琵琶湖
京都府	嵐山
大阪府	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
兵庫県	ネスタリゾート神戸
奈良県	奈良公園
和歌山県	アドベンチャーワールド
鳥取県	鳥取砂丘
島根県	島根県立しまね海洋館アクアス
岡山県	蒜山高原
広島県	宮島
山口県	秋吉台
徳島県	あすたむらんど徳島
香川県	レオマリゾート
愛媛県	道後温泉
高知県	桂浜
福岡県	海の中道海浜公園
佐賀県	吉野ヶ里歴史公園
長崎県	ハウステンボス
熊本県	阿蘇
大分県	城島高原パーク
宮崎県	青島
鹿児島県	鹿児島市平川動物公園
沖縄県	沖縄美ら海水族館

◆家族愛について

◆自身の家族愛を100点満点で評価すると？ 全体平均は76.7点、前回調査から3.1点低い結果に

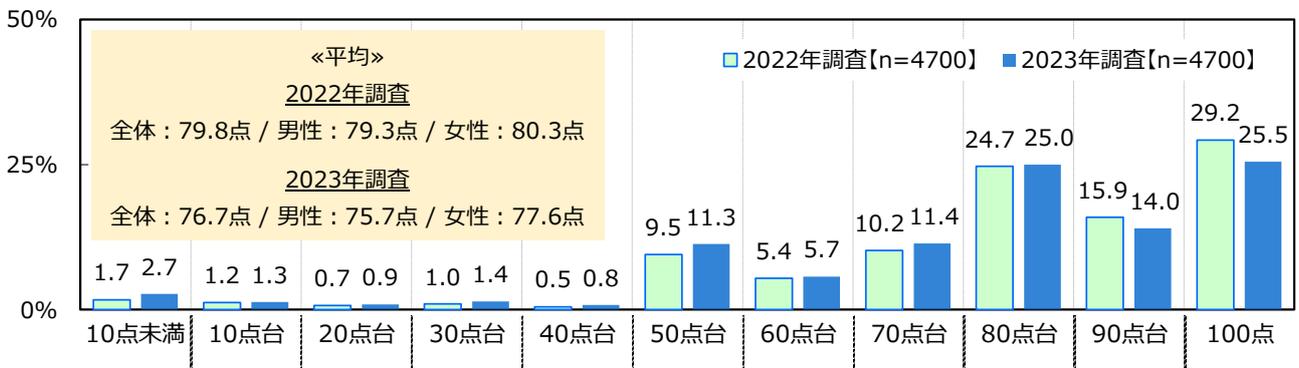
自己評価が高い都道府県 男性では1位「宮崎県」2位「高知県」、女性では1位「沖縄県」2位「長崎県」

家族愛について質問しました。

全回答者（4,700名）に、自身の家族愛の点数を100点満点（0点：最低～100点：最高）で評価すると何点か聞いたところ、「80点台」（25.0%）や「100点」（25.5%）に多くの回答が集まり、平均は76.7点でした。男女別に平均をみると、男性75.7点、女性77.6点でした。

前回の調査結果と比較すると、平均は2022年79.8点→2023年76.7点と、3.1点低くなりました。

◆自身の家族愛の点数を100点満点（0点：最低～100点：最高）で評価すると何点か（数値入力形式）



男女・都道府県別にみると、平均は男性では1位が宮崎県（83.2点）、2位が高知県（82.3点）、3位が埼玉県（82.2点）、女性では1位が沖縄県（86.5点）、2位が長崎県（83.9点）、3位が広島県（83.4点）でした。

◆自身の家族愛の点数（平均点）（数値入力形式）

男性・各都道府県[n=50]

順位	都道府県	点	順位	都道府県	点	順位	都道府県	点	順位	都道府県	点
1位	宮崎県	83.2	12位	茨城県	79.3	24位	徳島県	76.4	36位	福島県	72.3
2位	高知県	82.3	13位	大阪府	79.2	25位	鳥取県	76.0	37位	島根県	72.2
3位	埼玉県	82.2	14位	愛知県	79.1	27位	長崎県	76.0	38位	千葉県	72.1
4位	北海道	82.0	16位	和歌山県	79.1	28位	神奈川県	75.5	39位	青森県	71.8
5位	福井県	81.2	17位	栃木県	78.6	29位	広島県	75.3	40位	愛媛県	71.3
6位	沖縄県	80.8	18位	山口県	78.3	31位	東京都	75.1	41位	山形県	68.6
7位	岐阜県	79.5	19位	山梨県	78.1	33位	奈良県	75.1	42位	滋賀県	67.7
8位	熊本県	79.5	20位	新潟県	78.0	34位	富山県	74.8	43位	佐賀県	67.6
9位	石川県	79.4	21位	福岡県	77.9	35位	長野県	74.8	44位	秋田県	67.3
	大分県	79.4	22位	群馬県	77.4		兵庫県	74.7	45位	宮城県	66.9
	鹿児島県	79.4	23位	三重県	77.0		静岡県	74.1	46位	香川県	66.8
				京都府	76.8		岡山県	72.9	47位	岩手県	65.1

女性・各都道府県[n=50]

順位	都道府県	点									
1位	沖縄県	86.5	11位	島根県	80.1	24位	群馬県	77.6	36位	岡山県	75.5
2位	長崎県	83.9	13位	福岡県	80.0	26位	新潟県	77.6	37位	栃木県	74.9
3位	広島県	83.4	14位	大阪府	79.9	27位	滋賀県	77.5	38位	埼玉県	74.7
4位	兵庫県	82.8	15位	三重県	79.6	28位	静岡県	77.3	40位	富山県	74.7
5位	熊本県	81.9	16位	鳥取県	79.5	30位	山形県	76.8	41位	東京都	74.0
6位	高知県	81.6	17位	福井県	79.4	31位	和歌山県	76.8	42位	福島県	73.9
7位	大分県	81.6	18位	神奈川県	79.1	32位	愛知県	76.6	43位	宮城県	73.8
8位	徳島県	81.1	19位	長野県	79.1	34位	京都府	76.2	44位	千葉県	72.7
9位	青森県	80.7	20位	山口県	79.0	35位	石川県	76.0	45位	奈良県	70.5
10位	鹿児島県	80.4	21位	茨城県	78.6		香川県	76.0	46位	岐阜県	70.1
11位	山梨県	80.1	22位	愛媛県	78.4		宮崎県	75.9	47位	岩手県	69.6
			23位	秋田県	78.2		佐賀県	75.6		北海道	68.2

・この一年で、家族愛を実感したエピソード

「幸せなときも辛いときも、いつもそばにいて支えてくれる」「結婚 30 周年のお祝いを盛大にしてくれた」

「仕事で嫌なことがあっても、いつも優しく笑顔にさせてくれる」「仕事の忙しさをみて子どもが気遣ってくれた」

「旅行をしたとき、楽しくて幸せすぎてずっと笑っていた」といった家族愛溢れるエピソードが多数

全回答者（4,700 名）に、この一年で、家族愛を実感したエピソードを聞いたところ、〈日常・支え〉に関することでは、「同じ時間を共有することをとても大切にしてくれる（40 代女性）」や「母の介護を一緒になって手伝ってくれた（60 代男性）」、「幸せなときも辛いときも、いつもそばにいて支えてくれる（20 代女性）」、「娘が大変なときに、家族みんなで支え合った（50 代女性）」、「離れた場所においてもお互いの安否を気にかけている（60 代女性）」といったエピソードがありました。

〈お祝い〉に関することでは「結婚 30 周年のお祝いを盛大にしてくれた（50 代男性）」や「誕生日にサプライズで絵をプレゼントしてくれた（20 代男性）」、「還暦祝いをサプライズでしてくれた（60 代女性）」、「〈仕事〉に関することでは「仕事に行くとき、必ずお見送りしてくれる（30 代男性）」や「仕事で嫌なことがあっても、いつも優しく笑顔にさせてくれる（50 代女性）」、「仕事の帰りを、美味しいご飯を作って待っていてくれた（20 代男性）」といったエピソードがありました。

また、〈子ども〉に関することでは「疲れていたとき、子どもが『大丈夫？』と声をかけてくれた（40 代女性）」や「仕事の忙しさをみて子どもが気遣ってくれた（30 代男性）」、「中学生の息子がお礼の手紙を書いていた（40 代女性）」、「〈旅行〉に関することでは「旅行をしたとき、楽しくて幸せすぎてずっと笑っていた（30 代男性）」や「家族旅行でみんなで笑い合っ過ぎてお世話（40 代女性）」、「家族旅行で家族の絆を強く確認できた（60 代男性）」といったエピソードがありました。

◆この一年で、家族愛を実感したエピソード（自由回答形式） ※抜粋して表示

〈日常・支え〉

同じ時間を共有することをとても大切にしてくれる（40代女性・宮城県）
母の介護を一緒になって手伝ってくれた（60代男性・愛知県）
幸せなときも辛いときも、いつもそばにいて支えてくれる（20代女性・山梨県）
母が亡くなったとき支えてくれた（40代女性・山形県）
娘が大変なときに、家族みんなで支え合った（50代女性・長野県）
落ち込んでいるときに励ましてくれた（40代男性・鳥取県）
離れた場所においてもお互いの安否を気にかけている（60代女性・兵庫県）
家族がコロナにかかったとき、協力して乗り切った（50代女性・山口県）

〈お祝い〉

結婚30周年のお祝いを盛大にしてくれた（50代男性・佐賀県）
誕生日にサプライズで絵をプレゼントしてくれた（20代男性・宮城県）
誕生日や父の日を祝ってくれた（50代男性・新潟県）
父の日と母の日は必ず連絡をくれる（60代女性・宮崎県）
還暦祝いをサプライズでしてくれた（60代女性・石川県）

〈仕事〉

仕事に行くとき、必ずお見送りしてくれる（30代男性・山口県）
仕事で嫌なことがあっても、いつも優しく笑顔にさせてくれる（50代女性・大阪府）
出張から帰ってきたとき、家族が出迎えてくれた（30代男性・兵庫県）
仕事の帰りを、美味しいご飯を作って待っていてくれた（20代男性・福島県）

〈子ども〉

疲れていたとき、子どもが「大丈夫？」と声をかけてくれた（40代女性・宮崎県）
仕事の忙しさをみて子どもが気遣ってくれた（30代男性・徳島県）
中学生の息子がお礼の手紙を書いていた（40代女性・新潟県）
息子夫婦が釣りや旅行などいろいろ企画してくれる（50代女性・和歌山県）

〈旅行〉

旅行をしたとき、楽しくて幸せすぎてずっと笑っていた（30代男性・大分県）
家族旅行でみんなで笑い合っ過ぎてお世話（40代女性・愛知県）
家族旅行で家族の絆を強く確認できた（60代男性・広島県）

・**家族愛を深めるために欠かせないと思うこと**

1 位「普段から会話する」2 位「家族で団らん・食事する」3 位「家族間で思いやりを持つ」

・**家族愛を深めるために実践できていること 1 位「家族で団らん・食事する」**

「家族間で思いやりを持つ」や「感謝の言葉を伝える」は大切だと思っても行動に移せていない人が多い傾向

続いて、家族愛を深めるための行動について質問しました。

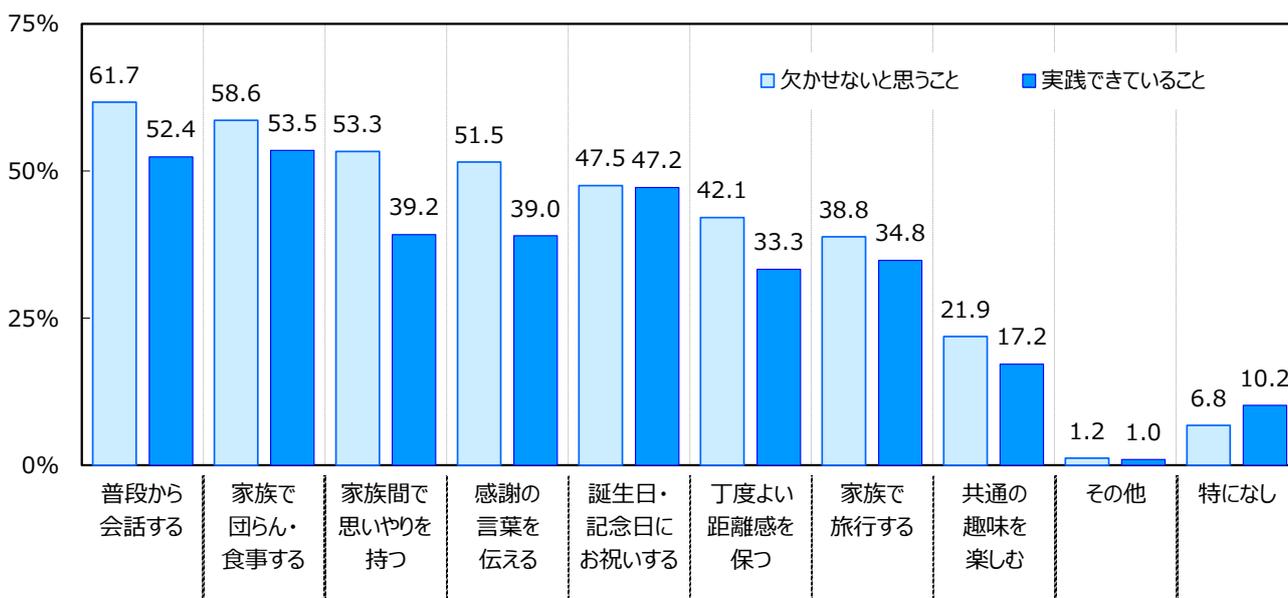
全回答者（4,700名）に、家族愛を深めるために欠かせないと思うことを聞いたところ、「普段から会話する」（61.7%）が最も高くなりました。家族間の会話の機会を大切に、普段からコミュニケーションを図ることで家族愛が深まると考えている人が多いようです。次いで高くなったのは、「家族で団らん・食事する」（58.6%）、「家族間で思いやりを持つ」（53.3%）、「感謝の言葉を伝える」（51.5%）、「誕生日・記念日にお祝いする」（47.5%）でした。

家族愛を深めるために実践できていることを聞いたところ、「家族で団らん・食事する」（53.5%）が最も高くなり、「普段から会話する」（52.4%）、「誕生日・記念日にお祝いする」（47.2%）、「家族間で思いやりを持つ」（39.2%）、「感謝の言葉を伝える」（39.0%）が続きました。

“欠かせないと思うこと”と“実践できていること”を比較すると、「家族間で思いやりを持つ」（欠かせないと思うこと 53.3%、実践できていること 39.2%）と「感謝の言葉を伝える」（欠かせないと思うこと 51.5%、実践できていること 39.0%）では、“実践できていること”とした割合のほうが“欠かせないと思うこと”とした割合よりも 10 ポイント以上低くなりました。思いやりを持つことや感謝の言葉を伝えることが大切だと思っても、実際に行動に移すことができていないケースが多いのではないのでしょうか。

◆家族愛を深めるために欠かせないと思うこと／実践できていること（各複数回答形式）

全体[n=4700]



◆配偶者・パートナーとのコミュニケーションについて

・配偶者・パートナーとのデートの理想と現実

デートをしたいと思う回数は平均 12.4 回/年、実際にデートをした回数は平均 8.0 回/年

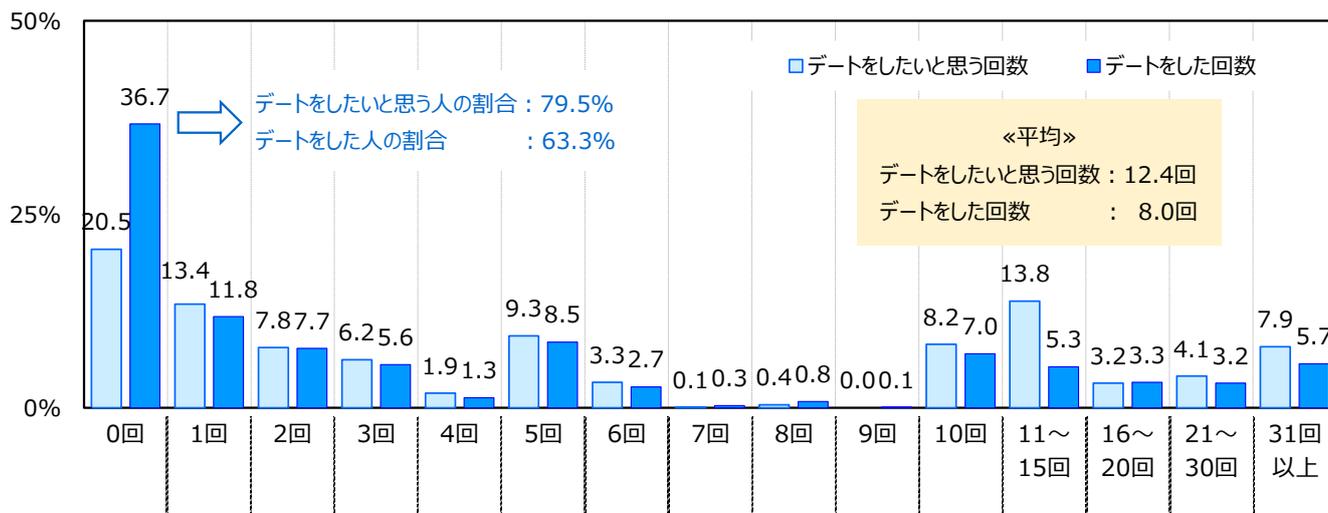
・配偶者・パートナーとしているデート 1位「外食」2位「ショッピング」3位「ドライブ」4位「散歩」5位「映画鑑賞」

配偶者・パートナーとのコミュニケーションについて質問しました。

まず、全回答者（4,700 名）に、配偶者・パートナーとデートを 1 年間に何回くらいしたいと思うか聞いたところ、「1 回」（13.4%）や「5 回」（9.3%）、「10 回」（8.2%）、「11～15 回」（13.8%）などに回答が分かれ、平均は 12.4 回でした。「0 回」は 20.5%で、デートをしたいと思う人の割合は 79.5%となりました。

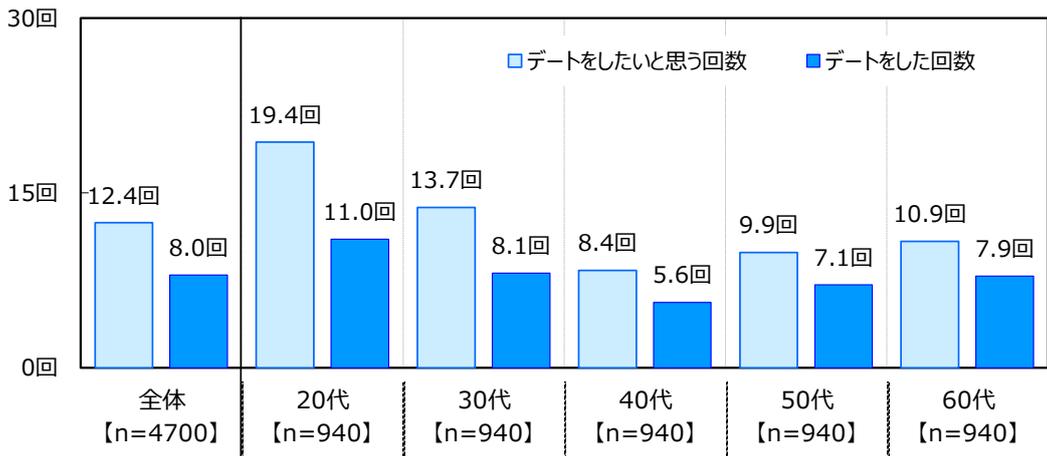
次に、今年、配偶者・パートナーとデートを何回くらいしたか聞いたところ、「0 回」（36.7%）に最も多くの回答が集まったほか、「1 回」（11.8%）や「5 回」（8.5%）にも回答がみられ、平均は 8.0 回、デートをした人の割合は 63.3%となりました。

◆配偶者・パートナーとデートを1年間に何回くらいしたいと思うか／今年、配偶者・パートナーとデートを何回くらいしたか（各数値入力形式）
全体【n=4700】



年代別にみると、“デートをしたいと思う回数”の平均と“今年、デートをした回数”の平均の両方が、20代→30代→40代と減少する一方、40代→50代→60代では反転して増加する傾向がみられました。また、20代では“デートをしたいと思う回数”が平均19.4回、“今年、デートをした回数”が平均11.0回と、理想の回数と比べて現実の回数のほうが8.4回少なく、他の年代と比べて差が大きくなりました。止まらない物価上昇によって節約志向が高まり、デートでの消費機会を意識的に抑えている若年層が多いのではないのでしょうか。

◆配偶者・パートナーとデートをしたいと思う回数（平均）／今年、配偶者・パートナーとデートをした回数（平均）



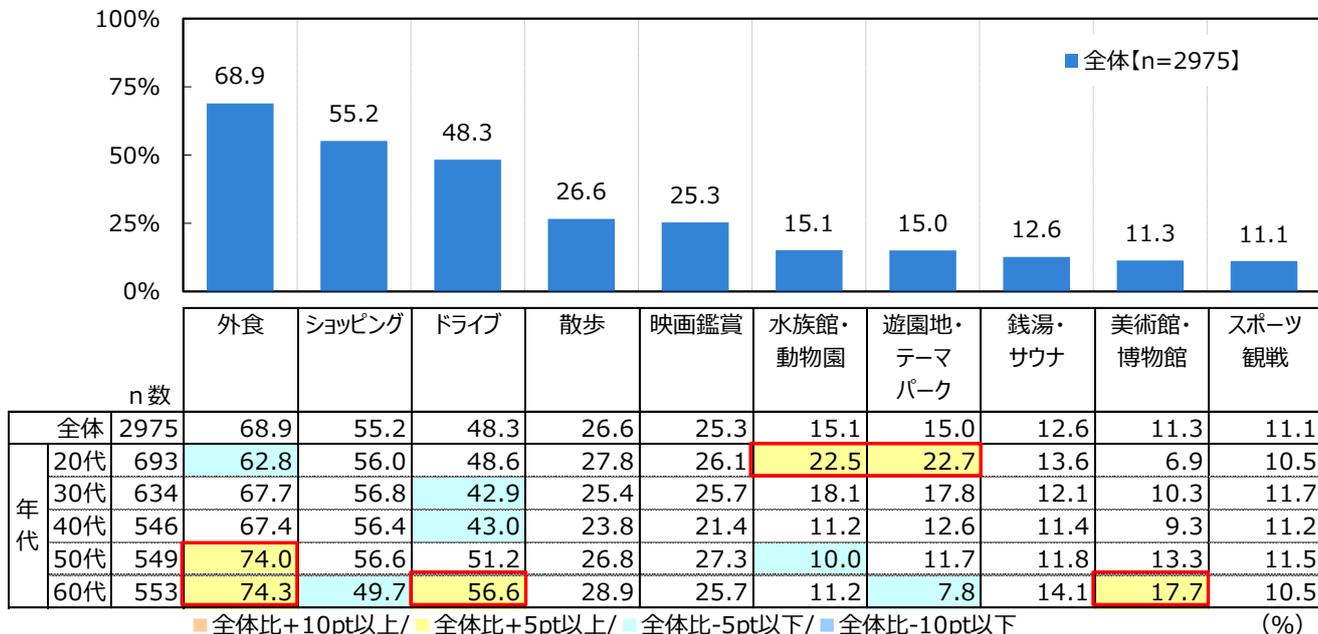
では、どのようなデートを楽しんでいる人が多いのでしょうか。

配偶者・パートナーとデートをしている方（2,975名）に、どのようなデート（行き先や目的など）をしているか聞いたところ、「外食」（68.9%）が最も高くなり、「ショッピング」（55.2%）、「ドライブ」（48.3%）、「散歩」（26.6%）、「映画鑑賞」（25.3%）が続きました。

年代別にみると、20代では「水族館・動物園」（22.5%）と「遊園地・テーマパーク」（22.7%）、50代では「外食」（74.0%）、60代では「外食」（74.3%）と「ドライブ」（56.6%）、「美術館・博物館」（17.7%）が全体と比べて5ポイント以上高くなりました。

◆配偶者・パートナーとは、どのようなデート（行き先や目的など）をしているか（複数回答形式） ※上位10位までを表示

対象：配偶者・パートナーとデートをしている方



・今年、配偶者・パートナーに“愛の言葉”を伝えた回数 平均は 26.0 回

1 位「奈良県」45.0 回、2 位「茨城県」「京都府」43.0 回、4 位「福岡県」42.5 回、5 位「大阪府」40.5 回

・配偶者・パートナーへの“愛の言葉”の伝え方 「直接面と向かって」がダントツ、2 位「メッセージアプリで」3 位「電話で」

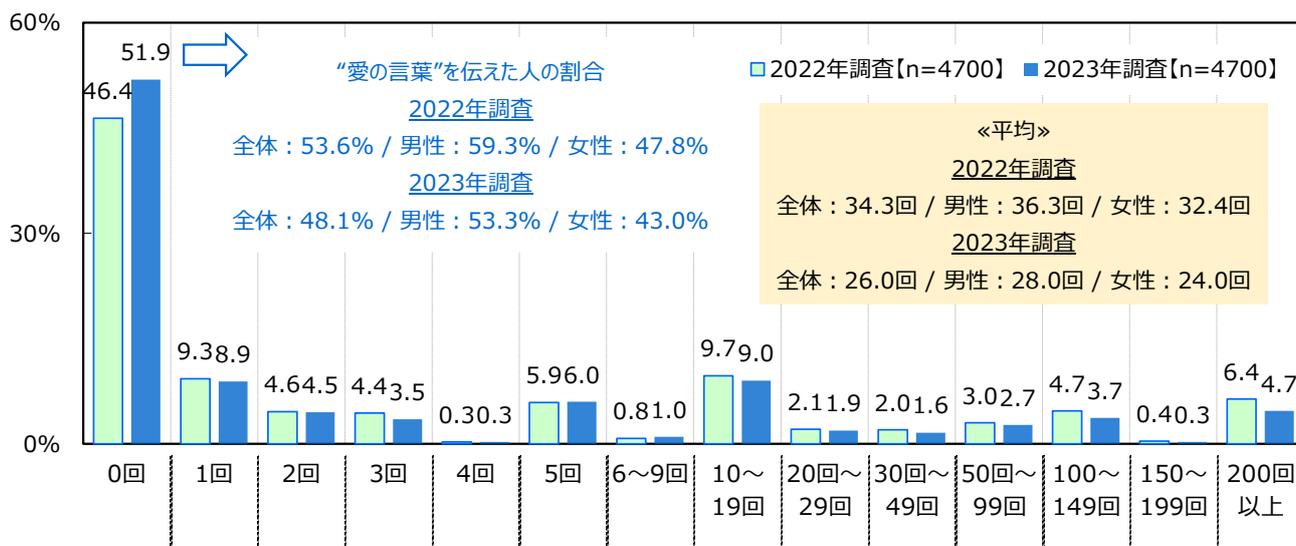
次に、配偶者・パートナーにかける愛の言葉について質問しました。

全回答者（4,700 名）に、今年、配偶者・パートナーに何回くらい“愛の言葉”（愛してる・好きなど）を伝えたか聞いたところ、「1 回」（8.9%）や「5 回」（6.0%）、「10～19 回」（9.0%）、「200 回以上」（4.7%）などに回答が分かれ、平均は 26.0 回でした。「0 回」は 51.9%で、“愛の言葉”を伝えた人の割合は 48.1%となりました。

男女別にみると、“愛の言葉”を伝えた回数の平均は、男性では 28.0 回と女性（24.0 回）と比べて 4.0 回多くなり、“愛の言葉”を伝えた人の割合は男性では 53.3%と女性（43.0%）と比べて 10.3 ポイント高くなりました。

前回の調査結果と比較すると、“愛の言葉”を伝えた回数の平均は 2022 年 34.3 回→2023 年 26.0 回と 8.3 回少なくなり、“愛の言葉”を伝えた人の割合は 2022 年 53.6%→2023 年 48.1%と 5.5 ポイント低くなりました。

◆今年、配偶者・パートナーに何回くらい“愛の言葉”（愛してる・好きなど）を伝えたか （数値入力形式）



都道府県別にみると、“愛の言葉”（愛してる・好きなど）を伝えた回数の平均は、奈良県（45.0 回）が最も多くなり、茨城県と京都府（いずれも 43.0 回）、福岡県（42.5 回）、大阪府（40.5 回）が続きました。

◆今年、配偶者・パートナーに“愛の言葉”（愛してる・好きなど）を伝えた回数（平均）

各都道府県【n=100】

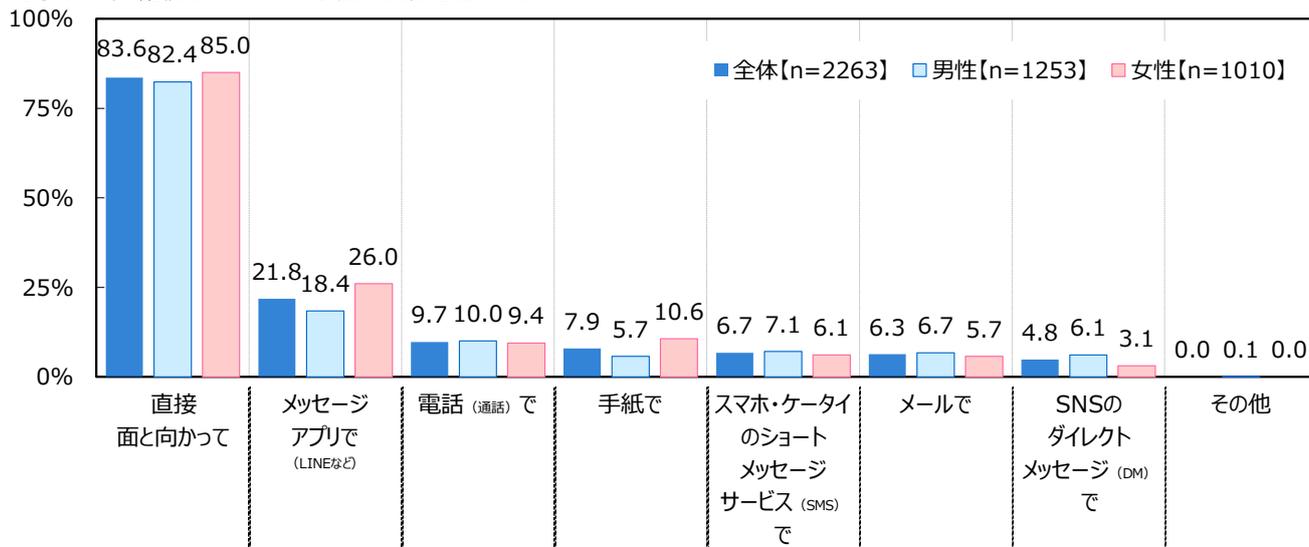
順位	都道府県	回数									
1位	奈良県	45.0	12位	熊本県	34.5	24位	新潟県	25.2	36位	北海道	18.0
			13位	滋賀県	34.1		愛知県	25.2	37位	福島県	16.5
2位	茨城県	43.0	14位	和歌山県	32.8	26位	三重県	24.2	38位	高知県	16.4
	京都府	43.0	15位	広島県	32.4	27位	岐阜県	23.2	39位	福井県	16.3
4位	福岡県	42.5	16位	東京都	32.0	29位	宮崎県	23.2	40位	岡山県	16.0
5位	大阪府	40.5	17位	静岡県	29.7	30位	石川県	23.0	41位	徳島県	14.4
6位	青森県	38.8	18位	山口県	29.2	31位	佐賀県	21.4	42位	長崎県	14.3
7位	群馬県	35.7	19位	兵庫県	29.1	33位	千葉県	19.9	43位	栃木県	13.3
8位	宮城県	35.3	20位	山梨県	28.7	34位	鳥取県	19.9	44位	富山県	12.3
	埼玉県	35.3	21位	島根県	28.1	35位	秋田県	19.4	45位	香川県	11.9
10位	長野県	35.1	22位	沖縄県	27.3		大分県	19.1	46位	山形県	11.5
11位	鹿児島県	34.6	23位	神奈川県	26.7		愛媛県	18.5	47位	岩手県	4.6

今年、配偶者・パートナーに“愛の言葉”を伝えた方（2,263 名）に、“愛の言葉”を伝える際、どのようにして伝えているか聞いたところ、「直接面と向かって」（83.6%）が突出して高くなり、「メッセージアプリで（LINE など）」（21.8%）、「電話（通話）で」（9.7%）が続きました。

男女別にみると、女性では「メッセージアプリで（LINE など）」が 26.0%と、男性（18.4%）と比べて 7.6 ポイント高くなりました。

◆配偶者・パートナーに“愛の言葉”を伝える際、どのようにして伝えているか（複数回答形式）

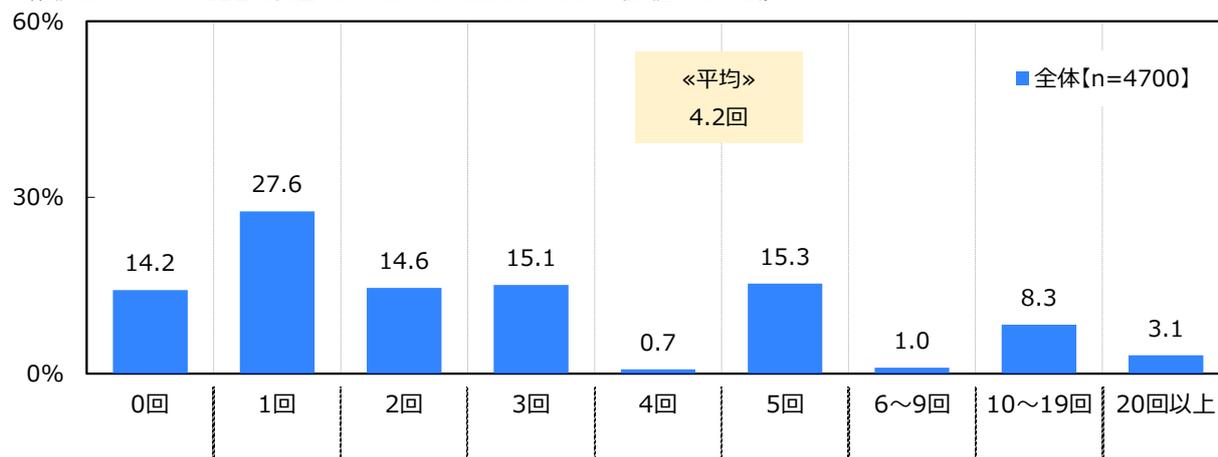
対象：今年、配偶者・パートナーに“愛の言葉”を伝えた方



・配偶者・パートナーに“ありがとう”と言っている回数 平均は 4.2 回/日、1 位は福島県で 6.3 回/日

全回答者（4,700 名）に、配偶者・パートナーに 1 日で何回くらい“ありがとう”と言っているか聞いたところ、「1 回」（27.6%）に最も多くの回答が集まったほか、「2 回」（14.6%）や「3 回」（15.1%）、「5 回」（15.3%）にも回答がみられ、平均は 4.2 回でした。また、「0 回」は 14.2%となりました。

◆配偶者・パートナーに1日で何回くらい“ありがとう”と言っているか（数値入力形式）



都道府県別にみると、1 日に“ありがとう”と言っている回数の平均は、福島県（6.3 回）が最も多くなり、長崎県（6.0 回）、東京都（5.9 回）、群馬県（5.5 回）、千葉県と奈良県（いずれも 5.1 回）が続きました。

◆配偶者・パートナーに1日に“ありがとう”と言っている回数（平均）

各都道府県【n=100】

順位	都道府県	回数
1位	福島県	6.3
2位	長崎県	6.0
3位	東京都	5.9
4位	群馬県	5.5
5位	千葉県	5.1
	奈良県	5.1
7位	秋田県	5.0
	島根県	5.0
	熊本県	5.0
10位	山形県	4.7
	山口県	4.7
12位	茨城県	4.6
	埼玉県	4.6
	新潟県	4.6
	石川県	4.6
	徳島県	4.6
	大分県	4.6
	沖縄県	4.6
19位	栃木県	4.5
	神奈川県	4.5
21位	京都府	4.4
	兵庫県	4.4
23位	佐賀県	4.3
24位	福岡県	4.2
25位	宮城県	4.1
	山梨県	4.1
	愛媛県	4.1
28位	北海道	4.0
	高知県	4.0
30位	青森県	3.9
	長野県	3.9
32位	富山県	3.8
	愛知県	3.8
	岡山県	3.8
35位	大阪府	3.6
36位	岐阜県	3.5
	滋賀県	3.5
38位	鳥取県	3.4
	福井県	3.3
	三重県	3.3
39位	宮崎県	3.3
	鹿児島県	3.3
43位	静岡県	2.9
	広島県	2.9
45位	和歌山県	2.8
46位	香川県	2.3
47位	岩手県	1.9

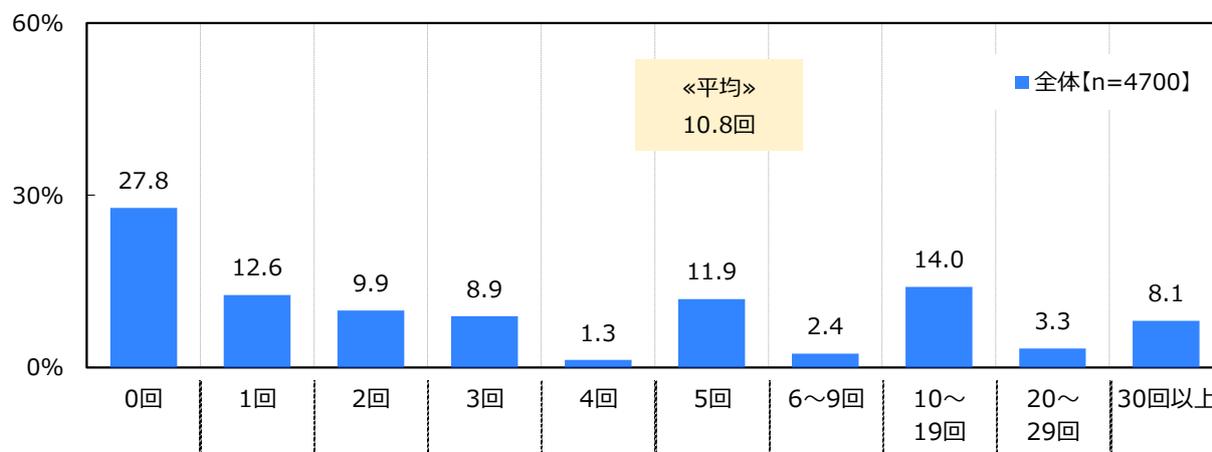
・今年起きた夫婦喧嘩・パートナーとの喧嘩の回数 平均は 10.8 回、1 位は青森県で 18.8 回

・配偶者・パートナーに“ごめんね”と言っている回数 平均は 6.2 回/月、1 位は宮城県で 12.4 回/月

配偶者・パートナーとの喧嘩について質問しました。

全回答者（4,700 名）に、今年、夫婦喧嘩・パートナーとの喧嘩を何回くらいしたか聞いたところ、「0 回」（27.8%）に最も多くの回答が集まったほか、「1 回」（12.6%）や「5 回」（11.9%）、「10～19 回」（14.0%）にも回答がみられ、平均は 10.8 回でした。

◆今年、夫婦喧嘩・パートナーとの喧嘩を何回くらいしたか（数値入力形式）



都道府県別にみると、喧嘩をした回数の平均は、青森県（18.8 回）が最も多くなり、大分県（18.5 回）、茨城県（17.1 回）、山形県（16.7 回）、千葉県（16.1 回）が続きました。

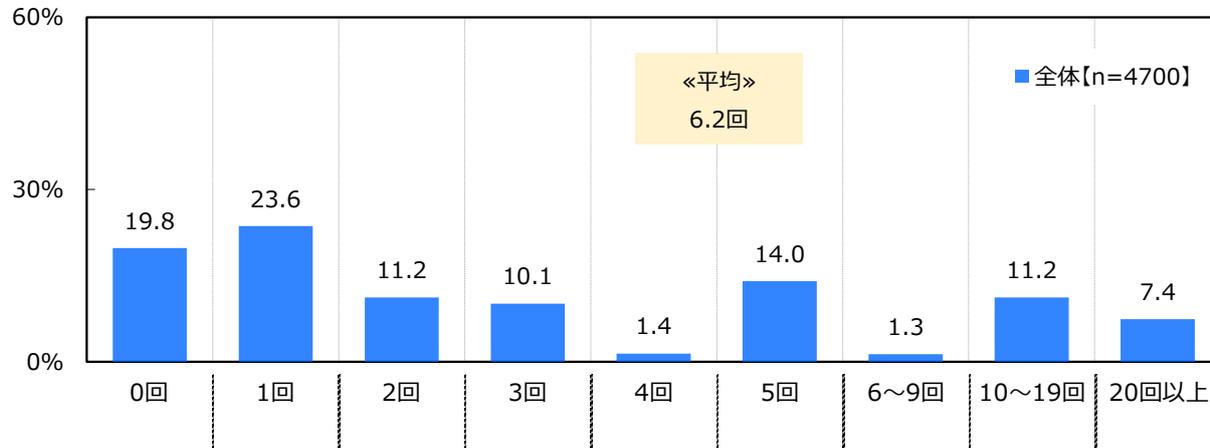
◆今年、夫婦喧嘩・パートナーとの喧嘩をした回数（平均）

各都道府県 [n=100]

1位	青森県	18.8	12位	島根県	13.0	23位	奈良県	11.1	36位	愛知県	7.6
2位	大分県	18.5	13位	福井県	12.8	24位	福島県	10.6	37位	愛媛県	7.4
3位	茨城県	17.1	14位	鳥取県	12.6	25位	宮崎県	10.4	38位	岡山県	7.2
4位	山形県	16.7	15位	鹿児島県	12.2	26位	三重県	10.2	39位	秋田県	6.7
5位	千葉県	16.1	16位	埼玉県	12.0	27位	岩手県	9.7	40位	栃木県	6.6
6位	香川県	15.6	17位	京都府	11.9	28位	東京都	9.6	41位	大阪府	6.6
7位	高知県	15.4	18位	熊本県	11.5	29位	静岡県	9.5	42位	山梨県	6.3
8位	滋賀県	15.2	19位	北海道	11.4	30位	和歌山県	9.4	43位	長崎県	6.1
9位	宮城県	14.8	20位	神奈川県	11.4	31位	徳島県	8.6	44位	佐賀県	6.0
10位	沖縄県	13.8	21位	石川県	11.3	32位	福岡県	8.5	45位	広島県	5.6
11位	富山県	13.5	22位	山口県	11.2	33位	群馬県	8.3	46位	新潟県	4.4
			23位	長野県	11.1	34位	兵庫県	8.1	47位	岐阜県	4.3

また、配偶者・パートナーに1カ月に何回くらい“ごめんね”と言っているか聞いたところ、「0回」（19.8%）や「1回」（23.6%）、「5回」（14.0%）などに回答が分かれ、平均は6.2回でした。

◆配偶者・パートナーに1カ月に何回くらい“ごめんね”と言っているか（数値入力形式）



都道府県別にみると、1カ月に“ごめんね”と言っている回数の平均は、宮城県（12.4回）が最も多くなり、沖縄県（9.8回）、徳島県（8.7回）、島根県（8.2回）、東京都（7.9回）が続きました。

◆配偶者・パートナーに1カ月に“ごめんね”と言っている回数（平均）

各都道府県【n=100】

順位	都道府県	回数	順位	都道府県	回数	順位	都道府県	回数	順位	都道府県	回数
1位	宮城県	12.4	8位	長崎県	7.4	24位	大阪府	6.2	36位	長野県	4.9
2位	沖縄県	9.8	9位	埼玉県	7.2	25位	鹿児島県	6.1	37位	岩手県	4.8
3位	徳島県	8.7	10位	神奈川県	7.2	26位	大分県	5.9	38位	三重県	4.7
4位	島根県	8.2	11位	愛知県	7.2	27位	山梨県	5.6	39位	岐阜県	4.6
5位	東京都	7.9	12位	香川県	7.0	28位	新潟県	5.4	40位	佐賀県	4.6
6位	山形県	7.8	13位	青森県	6.9	29位	滋賀県	5.4	41位	和歌山県	4.5
7位	石川県	7.5	14位	福島県	6.8	30位	鳥取県	5.3	42位	茨城県	4.2
8位	千葉県	7.4	15位	北海道	6.5	31位	宮崎県	5.3	43位	岡山県	4.2
	京都府	7.4	16位	栃木県	6.5	32位	富山県	5.2	44位	熊本県	4.1
	兵庫県	7.4	17位	群馬県	6.5	33位	静岡県	5.2	45位	福岡県	3.9
	愛媛県	7.4	18位	福井県	6.5	34位	秋田県	5.1	46位	広島県	3.8
			19位	山口県	6.5		奈良県	5.1	47位	高知県	3.7

・配偶者・パートナーに対して“イライラ”することがあるもの 男性 1位「愚痴が多い」、女性 1位「スマホばかり見ている」

イライラの原因となっているのはどのようなことなのでしょう。

全回答者（4,700名）に、配偶者・パートナーに対して“イライラ”することがあるものを聞いたところ、1位「スマホばかり見ている」（17.3%）、2位「電気・水を無駄遣いする（つけっぱなし・流しっぱなし）」（14.3%）、3位「お金の無駄遣いをする」（13.4%）、4位「部屋を散らかす」「イビキがうるさい」（いずれも12.7%）となりました。スマホに夢中になって問いかけに無視したり空返事ばかりしたりする様子にイライラを感じている人が多いようです。日頃、喧嘩や衝突をすることが多いと感じている人は、スマホとの付き合い方を見直してみるとよいかもしれません。

男女別にみると、男性では1位「愚痴が多い」（13.1%）、2位「スマホばかり見ている」（10.6%）、3位「お金の無駄遣いをする」（10.3%）、4位「部屋を散らかす」（9.1%）、5位「電気・水を無駄遣いする（つけっぱなし・流しっぱなし）」（8.8%）、女性では1位「スマホばかり見ている」（24.0%）、2位「イビキがうるさい」（20.7%）、3位「電気・水を無駄遣いする（つけっぱなし・流しっぱなし）」（19.8%）、4位「お金の無駄遣いをする」（16.6%）、5位「部屋を散らかす」（16.2%）となりました。また、男性では6位に「外出前の身支度が長い」（7.1%）、9位「会話が少ない」（5.1%）、女性では7位に「休日に寝てばかりいる」（14.3%）、8位に「服・靴を脱ぎっぱなしにする」（13.8%）が挙がりました。

◆配偶者・パートナーに対して“イライラ”することがあるもの（複数回答形式） ※上位10位までを表示

	全体【n=4700】	%
1位	スマホばかり見ている	17.3
2位	電気・水を無駄遣いする（つけっぱなし・流しっぱなし）	14.3
3位	お金の無駄遣いをする	13.4
4位	部屋を散らかす イビキがうるさい	12.7
6位	愚痴が多い	11.3
7位	ゴミを片付けない・分別しない	10.7
8位	掃除機がけ・モップがけをしない	10.1
9位	休日に寝てばかりいる	9.6
10位	使った食器を片付けない	9.4

	男性【n=2350】	%		女性【n=2350】	%
1位	愚痴が多い	13.1	1位	スマホばかり見ている	24.0
2位	スマホばかり見ている	10.6	2位	イビキがうるさい	20.7
3位	お金の無駄遣いをする	10.3	3位	電気・水を無駄遣いする（つけっぱなし・流しっぱなし）	19.8
4位	部屋を散らかす	9.1	4位	お金の無駄遣いをする	16.6
5位	電気・水を無駄遣いする（つけっぱなし・流しっぱなし）	8.8	5位	部屋を散らかす	16.2
6位	外出前の身支度が長い	7.1	6位	ゴミを片付けない・分別しない	15.5
7位	掃除機がけ・モップがけをしない	6.8	7位	休日に寝てばかりいる	14.3
8位	ゴミを片付けない・分別しない	6.0	8位	服・靴を脱ぎっぱなしにする	13.8
9位	会話が少ない	5.1	9位	使った食器を片付けない	13.7
10位	使った食器を片付けない	5.0	10位	掃除機がけ・モップがけをしない	13.3

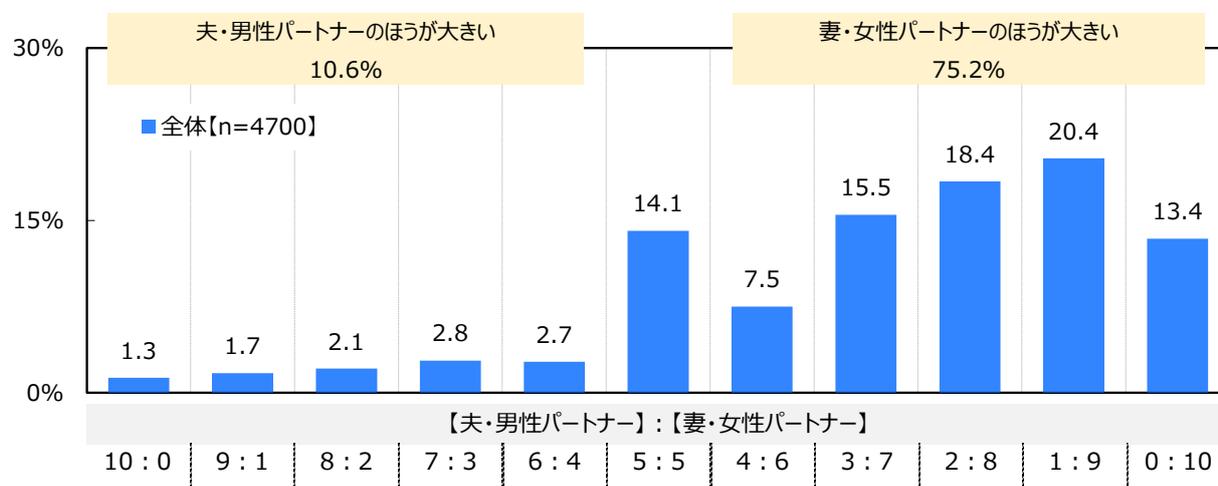
・配偶者・パートナーとの家事の分担割合

「夫・男性パートナーのほうが大きい」11%、「妻・女性パートナーのほうが大きい」75%

家事や育児・子育てをどのように分担している家庭が多いのでしょうか。

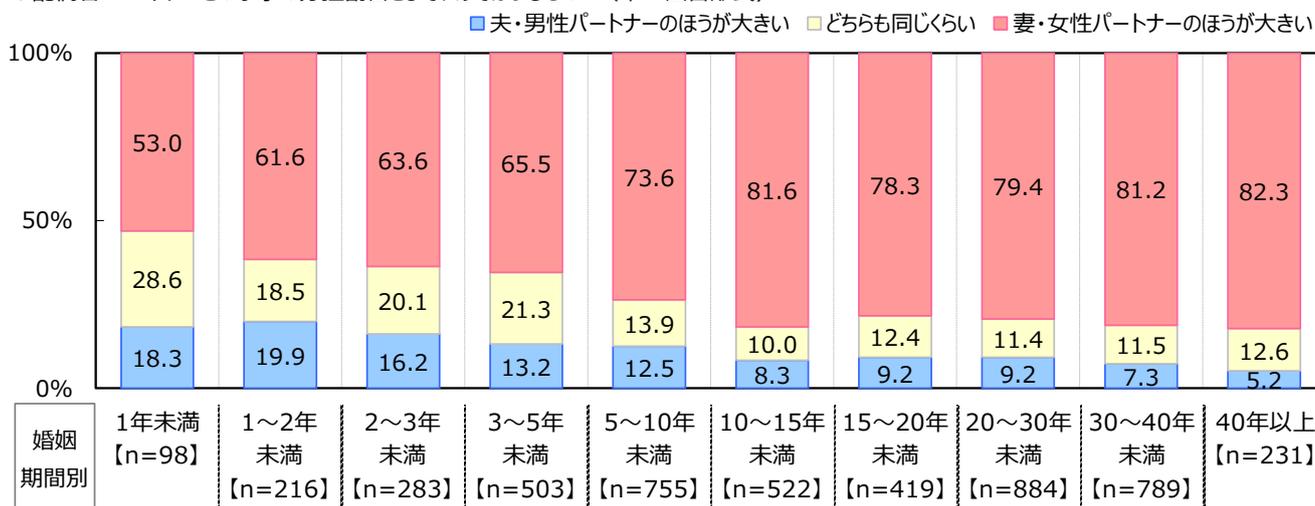
全回答者（4,700名）に、配偶者・パートナーとの家事の分担割合としてあてはまるものを聞き、【夫・男性パートナー】と【妻・女性パートナー】との割合を算出したところ、「夫・男性パートナー1：妻・女性パートナー9」（20.4%）が最も高くなり、「夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8」（18.4%）、「夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7」（15.5%）が続き、『夫・男性パートナーのほうが大きい』は10.6%、『妻・女性パートナーのほうが大きい』は75.2%となりました。家事の分担割合は妻・女性パートナーのほうに偏っている家庭が大多数のようです。

◆配偶者・パートナーとの家事の分担割合として、あてはまるもの（単一回答形式）



婚姻期間別にみると、婚姻期間が5年未満では『妻・女性パートナーのほうが大きい』が7割未満（1年未満53.0%、1～2年未満61.6%、2～3年未満63.6%、3～5年未満65.5%）となったのに対し、婚姻期間が10年以上では約8割（10～15年未満81.6%、15～20年未満78.3%、20～30年未満79.4%、30～40年未満81.2%、40年以上82.3%）と高くなる傾向がみられました。

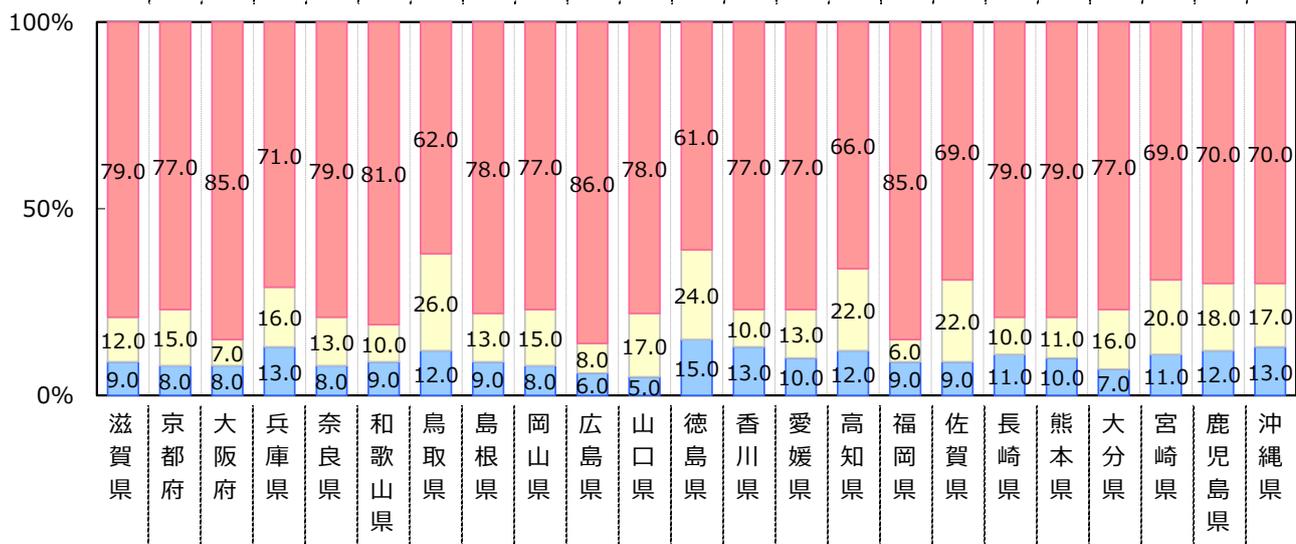
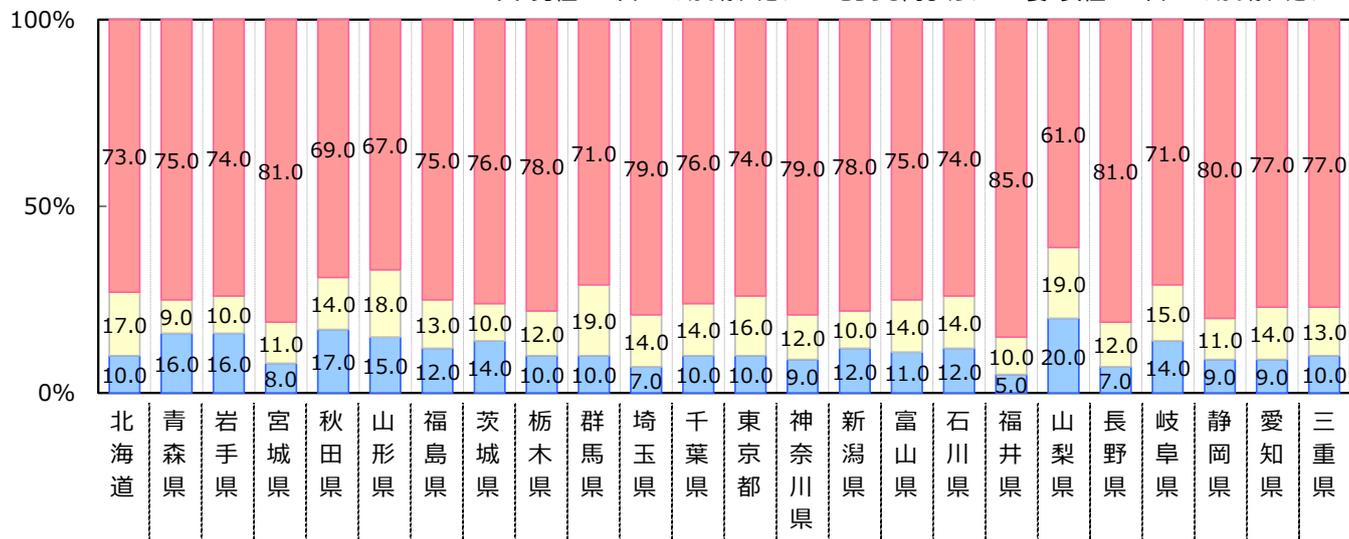
◆配偶者・パートナーとの家事の分担割合として、あてはまるもの（単一回答形式）



都道府県別にみると、『夫・男性パートナーのほうが大きい』は山梨県（20.0%）が最も高くなり、秋田県（17.0%）、青森県と岩手県（いずれも16.0%）が続きました。

◆配偶者・パートナーとの家事の分担割合として、あてはまるもの（単一回答形式） ※各都道府県【n=100】

■夫・男性パートナーのほうが大きい ■どちらも同じくらい ■妻・女性パートナーのほうが大きい



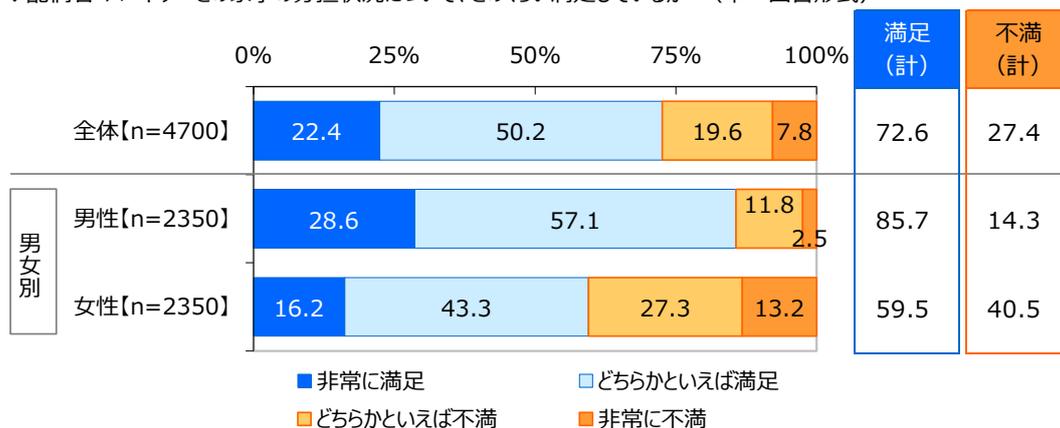
・「配偶者・パートナーとの家事の分担状況に満足している」男性 86%、女性 60%

満足度が最も高いのは男性では奈良県、女性では大阪府

全回答者（4,700名）に、配偶者・パートナーとの家事の分担状況について、どのくらい満足しているか聞いたところ、「非常に満足」が22.4%、「どちらかといえば満足」が50.2%で、合計した『満足（計）』は72.6%、「非常に不満」が7.8%、「どちらかといえば不満」が19.6%で、合計した『不満（計）』は27.4%となりました。

男女別にみると、男性では『満足（計）』が85.7%と、女性（59.5%）と比べて26.2ポイント高くなりました。

◆配偶者・パートナーとの家事の分担状況について、どのくらい満足しているか（単一回答形式）



男女・都道府県別にみると、家事の分担状況について満足している割合は、男性では奈良県（96.0%）が1位、女性では大阪府（74.0%）が1位でした。

◆配偶者・パートナーとの家事の分担状況について満足している割合（単一回答形式）

男性・各都道府県【n=50】

順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%
1位	奈良県	96.0	9位	大阪府	90.0	23位	鳥取県	86.0
2位	岐阜県	94.0	15位	兵庫県	90.0	29位	愛媛県	86.0
	愛知県	94.0		和歌山県	90.0		熊本県	86.0
	京都府	94.0		埼玉県	88.0		大分県	86.0
	高知県	94.0		千葉県	88.0		沖縄県	86.0
	福岡県	94.0		神奈川県	88.0		青森県	84.0
8位	宮崎県	94.0	19位	新潟県	88.0	33位	三重県	84.0
	鹿児島県	92.0		福井県	88.0		島根県	84.0
9位	北海道	90.0	23位	山梨県	88.0	37位	山口県	84.0
	東京都	90.0		長野県	88.0		山形県	82.0
	静岡県	90.0		岡山県	88.0		茨城県	82.0
				石川県	86.0		滋賀県	82.0
						33位	広島県	82.0
						37位	福島県	80.0
						41位	群馬県	80.0
						43位	徳島県	80.0
						46位	長崎県	80.0
							富山県	78.0
							佐賀県	78.0
							岩手県	76.0
							秋田県	76.0
							香川県	76.0
							宮城県	74.0
							栃木県	74.0

女性・各都道府県【n=50】

順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	順位	都道府県	%	
1位	大阪府	74.0	9位	愛媛県	66.0	23位	神奈川県	60.0	
2位	鳥取県	70.0	13位	茨城県	64.0	26位	佐賀県	60.0	
	徳島県	70.0		長野県	64.0		秋田県	58.0	
4位	山形県	68.0		静岡県	64.0		29位	千葉県	58.0
	埼玉県	68.0		島根県	64.0			和歌山県	58.0
	山梨県	68.0		広島県	64.0			新潟県	56.0
9位	宮崎県	68.0	19位	大分県	64.0	32位	富山県	56.0	
	鹿児島県	68.0		青森県	62.0		兵庫県	56.0	
	岐阜県	66.0		東京都	62.0		北海道	54.0	
	愛知県	66.0		三重県	62.0		栃木県	54.0	
	京都府	66.0		香川県	62.0		群馬県	54.0	
				宮城県	60.0		石川県	54.0	
							福井県	54.0	
							滋賀県	54.0	
							沖縄県	54.0	
							福島県	52.0	
							奈良県	52.0	
							岡山県	52.0	
							高知県	52.0	
							長崎県	52.0	
							熊本県	50.0	
							岩手県	48.0	
							山口県	46.0	
							福岡県	44.0	

・配偶者・パートナーとの家事の分担状況について満足している理由

「互いにちょうどよいと考えている」「臨機応変に分担できている」「率先してやってくれる」「助けてくれている」など

・配偶者・パートナーとの家事の分担状況について不満を感じている理由

「不公平感がある」「もっと頼ってほしい」「とにかく何もやってくれない」「時々、自分が家政婦のように感じる」など

配偶者・パートナーとの家事の分担状況について満足している方（3,413名）に、満足している理由を聞いたところ、男性では「互いにちょうどよいと考えている（夫・男性パートナー8：妻・女性パートナー2）」や「偏らず、バランスのよい分担になっている（夫・男性パートナー6：妻・女性パートナー4）」、「お互いの得意なこと、苦手なことを分担している（夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5）」、「臨機応変に分担できている（夫・男性パートナー4：妻・女性パートナー6）」、「仕事に専念できる（夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8）」、女性では「できる人がやればよいと思う（夫・男性パートナー0：妻・女性パートナー10）」や「自分ですべてやるほうが楽（夫・男性パートナー0：妻・女性パートナー10）」、「率先してやってくれる（夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7）」、「よくやってくれている（夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7）」、「助けてくれている（夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5）」、「うまくいっている（夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5）」といった回答がありました。

◆配偶者・パートナーとの家事の分担状況について満足している理由（自由回答形式） ※抜粋して表示

対象：配偶者・パートナーとの家事の分担状況について満足している方

男性[n=2014]

互いにちょうどよいと考えている
(夫・男性パートナー8：妻・女性パートナー2)
お互い意見を聞いて解決できている
(夫・男性パートナー6：妻・女性パートナー4)
偏らず、バランスのよい分担になっている
(夫・男性パートナー6：妻・女性パートナー4)
いい感じに分担できている
(夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5)
お互いの得意なこと、苦手なことを分担している
(夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5)
得手不得手で分担できている
(夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5)
臨機応変に分担できている
(夫・男性パートナー4：妻・女性パートナー6)
お互いに無理なく分担できる範囲になっている
(夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7)
ちょうどいいと感じている
(夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7)
役割分担ができていると思う
(夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7)
お互いができる範囲や時間でやっている
(夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8)
仕事に専念できる
(夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8)
生活スタイルとバランスが取れている
(夫・男性パートナー1：妻・女性パートナー9)

女性[n=1399]

できる人がやればよいと思う
(夫・男性パートナー0：妻・女性パートナー10)
自分ですべてやるほうが楽
(夫・男性パートナー0：妻・女性パートナー10)
やりたいようにやれる
(夫・男性パートナー1：妻・女性パートナー9)
言えばやってくれる
(夫・男性パートナー1：妻・女性パートナー9)
お互いできるときにしている
(夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8)
バランスが取れている
(夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7)
率先してやってくれる
(夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7)
よくやってくれている
(夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7)
ちょうどいい
(夫・男性パートナー4：妻・女性パートナー6)
協力的
(夫・男性パートナー4：妻・女性パートナー6)
助けてくれている
(夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5)
うまくいっている
(夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5)
不満を感じていない
(夫・男性パートナー7：妻・女性パートナー3)

配偶者・パートナーとの家事の分担状況について不満を感じている方（1,287名）に、不満を感じている理由を聞いたところ、男性では「勝手に役割分担を決められた（夫・男性パートナー9：妻・女性パートナー1）」や「こちらの負担が多い（夫・男性パートナー7：妻・女性パートナー3）」、「不公平感がある（夫・男性パートナー7：妻・女性パートナー3）」、「もっと頼ってほしい（夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7）」、「もっと自分がしなければならぬ（夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8）」、女性では「とにかく何もやってくれない（夫・男性パートナー0：妻・女性パートナー10）」や「もう少し手伝ってほしい（夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8）」、「仕事が忙しいのはわかるが、家事もしてほしい（夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8）」、「時々、自分が家政婦のように感じる（夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8）」、「頼まなくてもしてほしい（夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7）」、「こちらの希望を聞かない（夫・男性パートナー4：妻・女性パートナー6）」、「やると言ってもやらない（夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5）」といった回答がありました。

◆配偶者・パートナーとの家事の分担状況について不満を感じている理由（自由回答形式） ※抜粋して表示

対象：配偶者・パートナーとの家事の分担状況について不満を感じている方

男性[n=336]

- 分担の話し合いをしようしない
(夫・男性パートナー10：妻・女性パートナー0)
- もう少し分担したい
(夫・男性パートナー9：妻・女性パートナー1)
- 勝手に役割分担を決められた
(夫・男性パートナー9：妻・女性パートナー1)
- やることが多い
(夫・男性パートナー8：妻・女性パートナー2)
- こちらの負担が多い
(夫・男性パートナー7：妻・女性パートナー3)
- 家事のほとんどを自分がしている
(夫・男性パートナー7：妻・女性パートナー3)
- 共働きなのに負担が多い
(夫・男性パートナー7：妻・女性パートナー3)
- 不公平感がある
(夫・男性パートナー7：妻・女性パートナー3)
- 仕事後の負担が大きい
(夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5)
- もっと頼ってほしい
(夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7)
- もっと自分がしなければならぬ
(夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8)
- 自分のせいではあるが全然関わっていない
(夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8)
- 任せすぎていて申し訳ない
(夫・男性パートナー1：妻・女性パートナー9)

女性[n=951]

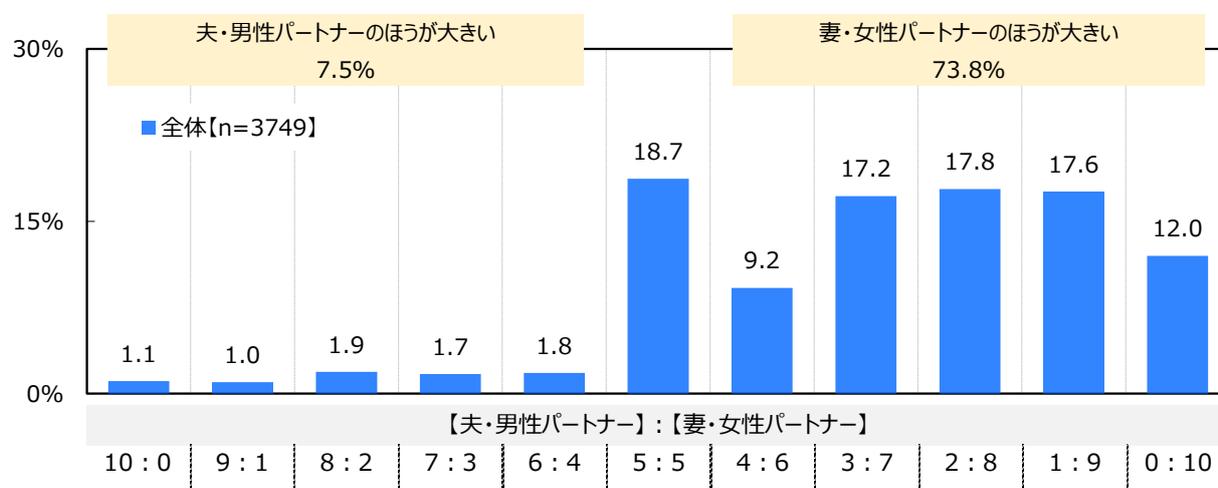
- とにかく何もやってくれない
(夫・男性パートナー0：妻・女性パートナー10)
- 何も手伝ってくれない
(夫・男性パートナー0：妻・女性パートナー10)
- これくらいしてほしいと思うことをしてくれない
(夫・男性パートナー1：妻・女性パートナー9)
- もう少し手伝ってほしい
(夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8)
- 仕事が忙しいのはわかるが、家事もしてほしい
(夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8)
- 頼まなくても自分から進んで手伝ってほしい
(夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8)
- 分担したことを守らない。気づきが遅い
(夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8)
- 時々、自分が家政婦のように感じる
(夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8)
- 気づいてやってくれない
(夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7)
- 頼まなくてもしてほしい
(夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7)
- 言われたいとしない
(夫・男性パートナー4：妻・女性パートナー6)
- こちらの希望を聞かない
(夫・男性パートナー4：妻・女性パートナー6)
- やると言ってもやらない
(夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5)

・配偶者・パートナーとの育児・子育ての分担割合

「夫・男性パートナーのほうが大きい」8%、「妻・女性パートナーのほうが大きい」74%

子どもがいる方（3,749名）に、配偶者・パートナーとの育児・子育ての分担割合としてあてはまるものを聞き、【夫・男性パートナー】と【妻・女性パートナー】との割合を算出したところ、「夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5」（18.7%）が最も高くなり、「夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8」（17.8%）、「夫・男性パートナー1：妻・女性パートナー9」（17.6%）が続き、『夫・男性パートナーのほうが大きい』は7.5%、『妻・女性パートナーのほうが大きい』は73.8%となりました。家事の分担割合と同様、育児・子育ての分担割合も妻・女性パートナーのほうに偏っている家庭が多いことがわかりました。

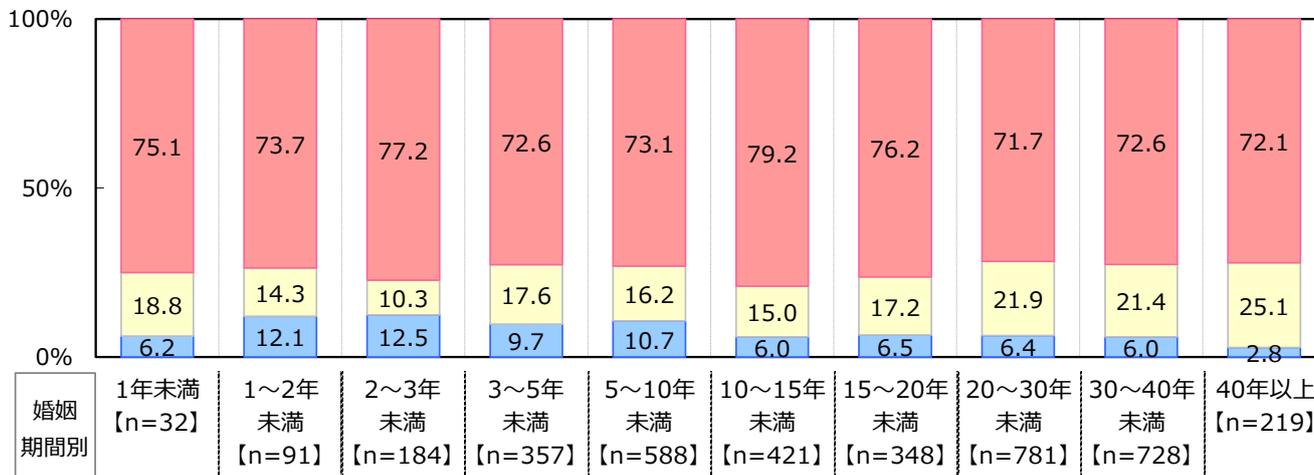
◆配偶者・パートナーとの育児・子育ての分担割合として、あてはまるもの（単一回答形式） 対象：子どもがいる方



婚姻期間別にみると、婚姻期間が2～3年未満では『夫・男性パートナーのほうが大きい』が12.5%と、全体と比べて5ポイント以上高くなりました。

◆配偶者・パートナーとの育児・子育ての分担割合として、あてはまるもの（単一回答形式） 対象：子どもがいる方

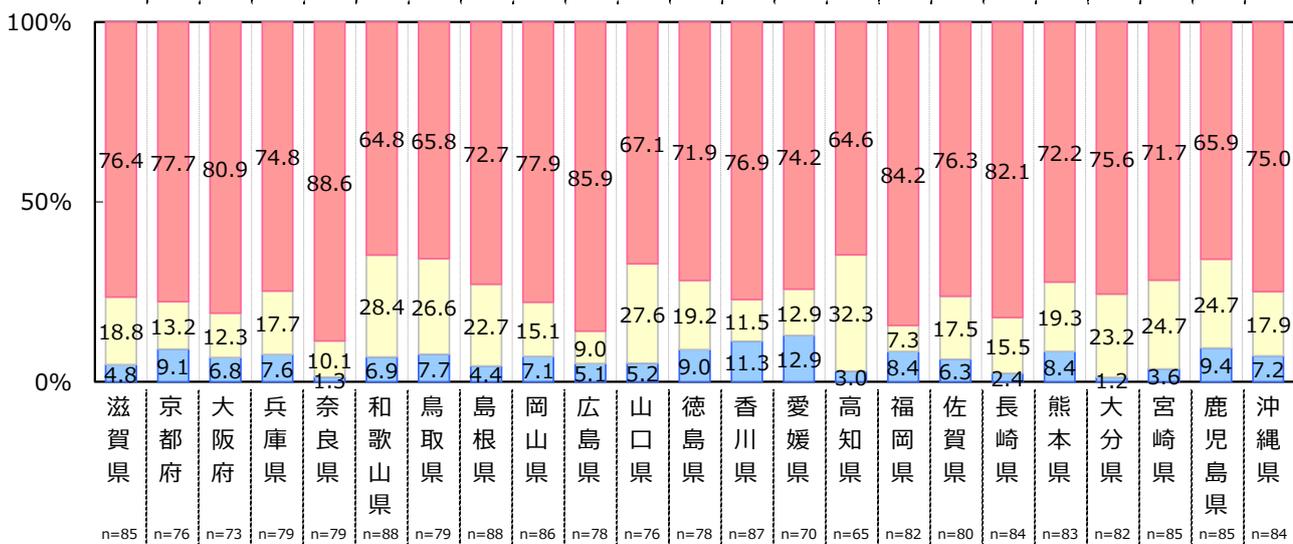
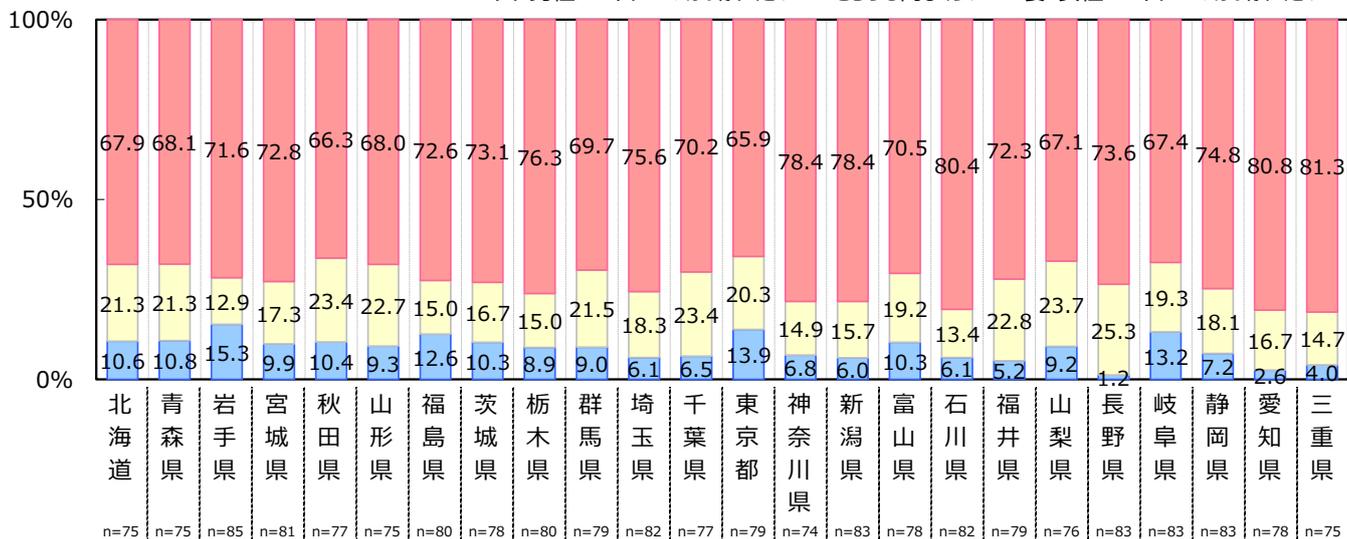
■夫・男性パートナーのほうが大きい ■どちらも同じくらい ■妻・女性パートナーのほうが大きい



都道府県別にみると、『夫・男性パートナーのほうが大きい』は岩手県（15.3%）が最も高くなり、東京都（13.9%）、岐阜県（13.2%）が続きました。

◆配偶者・パートナーとの育児・子育ての分担割合として、あてはまるもの（単一回答形式） 対象：子どもがいる方

■夫・男性パートナーのほうが大きい ■どちらも同じくらい ■妻・女性パートナーのほうが大きい



・配偶者・パートナーとの育児・子育ての分担状況について満足している理由

「育児が楽しい」「お互いに助け合っている」「できる範囲でやってくれる」「自ら育児に参加してくれている」など

・配偶者・パートナーとの育児・子育ての分担状況について不満を感じている理由

「なかなか自分の時間が取れない」「仕事が忙しくて全くできていない」「もう少し子どもと関わってほしい」など

配偶者・パートナーとの育児・子育ての分担状況について満足している方（2,746名）に、満足している理由を聞いたところ、男性では「育児が楽しい（夫・男性パートナー9：妻・女性パートナー1）」や「子どもの世話をするのが好き（夫・男性パートナー7：妻・女性パートナー3）」、「話し合って決めている（夫・男性パートナー6：妻・女性パートナー4）」、「うまく分担できている（夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5）」、「お互いに助け合っている（夫・男性パートナー4：妻・女性パートナー6）」、「得意、不得意を理解し、フォローし合っている（夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7）」、女性では「自分でやりたかった（夫・男性パートナー0：妻・女性パートナー10）」や「忙しいときには手伝ってもらえている（夫・男性パートナー1：妻・女性パートナー9）」、「できることはやってくれている（夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8）」、「できる範囲でやってくれる（夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7）」、「休みの日は協力している（夫・男性パートナー4：妻・女性パートナー6）」、「一緒に子どものことを考えて行動してくれる（夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5）」、「自ら育児に参加してくれている（夫・男性パートナー6：妻・女性パートナー4）」といった回答がありました。

◆配偶者・パートナーとの育児・子育ての分担状況について満足している理由（自由回答形式） ※抜粋して表示

対象：配偶者・パートナーとの育児・子育ての分担状況について満足している方

男性【n=1661】

育児が楽しい
(夫・男性パートナー9：妻・女性パートナー1)
適切に分担している
(夫・男性パートナー8：妻・女性パートナー2)
子どもの世話をするのが好き
(夫・男性パートナー7：妻・女性パートナー3)
話し合って決めている
(夫・男性パートナー6：妻・女性パートナー4)
ちょうどよいと感じている
(夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5)
うまく分担できている
(夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5)
お互いが協力している
(夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5)
ちょうどよくバランスが取れている
(夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5)
お互いに助け合っている
(夫・男性パートナー4：妻・女性パートナー6)
お互い忙しいなかでもできている
(夫・男性パートナー4：妻・女性パートナー6)
双方が理解している
(夫・男性パートナー4：妻・女性パートナー6)
得意、不得意を理解し、フォローし合っている
(夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7)
お互い無理なく出来る範囲になっている
(夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7)

女性【n=1085】

頼むより自分でやったほうが気が楽
(夫・男性パートナー0：妻・女性パートナー10)
自分でやりたかった
(夫・男性パートナー0：妻・女性パートナー10)
うまく分担できている
(夫・男性パートナー1：妻・女性パートナー9)
忙しいときには手伝ってもらえている
(夫・男性パートナー1：妻・女性パートナー9)
できることはやってくれている
(夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8)
言えばやってくれる
(夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8)
2人でよく話した結果
(夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8)
できる範囲でやってくれる
(夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7)
無理なときはちゃんとやってくれる
(夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7)
自分のできることはお互いやっている
(夫・男性パートナー4：妻・女性パートナー6)
休みの日は協力している
(夫・男性パートナー4：妻・女性パートナー6)
一緒に子どものことを考えて行動してくれる
(夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5)
自ら育児に参加してくれている
(夫・男性パートナー6：妻・女性パートナー4)

配偶者・パートナーとの育児・子育ての分担状況について不満を感じている方（1,003名）に、不満を感じている理由を聞いたところ、男性では「なかなか自分の時間が取れない（夫・男性パートナー8：妻・女性パートナー2）」や「何でもこちらに押しつける（夫・男性パートナー7：妻・女性パートナー3）」、「もう少しやってほしい（夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5）」、「もう少し子どもとの時間を作ってあげたい（夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7）」、「仕事が忙しくて全くできていない（夫・男性パートナー1：妻・女性パートナー9）」、女性では「お願いしないとやってくれない（夫・男性パートナー0：妻・女性パートナー10）」や「自分のことばかりで、手伝う気がない（夫・男性パートナー0：妻・女性パートナー10）」、「もう少し子どもと関わってほしい（夫・男性パートナー1：妻・女性パートナー9）」、「親として子育てを一緒にしたい（夫・男性パートナー1：妻・女性パートナー9）」、「もっと進んで自分からやってほしい（夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8）」、「率先して行動してくれない（夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8）」、「自分の都合のいいときだけ対応する（夫・男性パートナー4：妻・女性パートナー6）」といった回答がありました。

◆配偶者・パートナーとの育児・子育ての分担状況について不満を感じている理由（自由回答形式） ※抜粋して表示
 対象：配偶者・パートナーとの育児・子育ての分担状況について不満を感じている方

男性[n=211]

なかなか自分の時間が取れない
 (夫・男性パートナー8：妻・女性パートナー2)

何でもこちらに押しつける
 (夫・男性パートナー7：妻・女性パートナー3)

うまくできていない
 (夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5)

もう少しやってほしい
 (夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5)

面倒なことは押しつけられる
 (夫・男性パートナー5：妻・女性パートナー5)

もっと自分がしなければならぬ
 (夫・男性パートナー4：妻・女性パートナー6)

もう少し子どもとの時間を作ってあげたい
 (夫・男性パートナー3：妻・女性パートナー7)

育児に参加させてもらえない
 (夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8)

自分がきちんとできていない
 (夫・男性パートナー1：妻・女性パートナー9)

仕事が忙しくて全くできていない
 (夫・男性パートナー1：妻・女性パートナー9)

女性[n=792]

お願いしないとやってくれない
 (夫・男性パートナー0：妻・女性パートナー10)

やらずに口だけ出してくる
 (夫・男性パートナー0：妻・女性パートナー10)

自分のことばかりで、手伝う気がない
 (夫・男性パートナー0：妻・女性パートナー10)

何でも人任せで思いやりのない
 (夫・男性パートナー0：妻・女性パートナー10)

もう少し子どもと関わってほしい
 (夫・男性パートナー1：妻・女性パートナー9)

親として子育てを一緒にしたい
 (夫・男性パートナー1：妻・女性パートナー9)

頼めばやってくれるが余計なことしかしない
 (夫・男性パートナー1：妻・女性パートナー9)

もっと進んで自分からやってほしい
 (夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8)

率先して行動してくれない
 (夫・男性パートナー2：妻・女性パートナー8)

自分の都合のいいときだけ対応する
 (夫・男性パートナー4：妻・女性パートナー6)

◆子どもの名付けと子育てについて

・子どもの名前を決める際に、名前候補を出した人は？

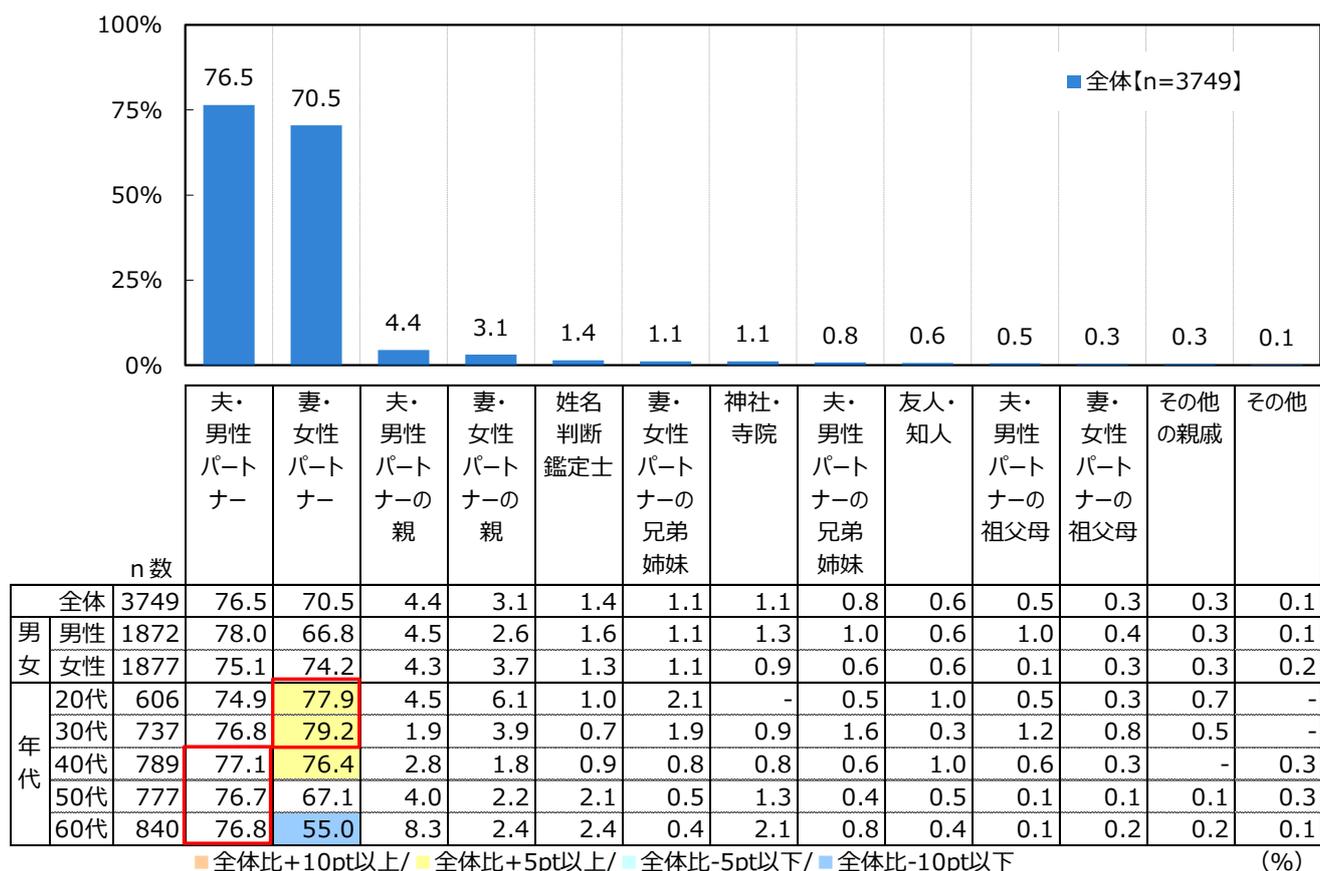
20代・30代では「妻・女性パートナー」、40代以上では「夫・男性パートナー」が1位

子どもの名付けと子育てについて質問しました。

まず、子どもがいる方（3,749名）に、子どもの名前を決める際に、名前候補を出した人を聞いたところ、「夫・男性パートナー」（76.5%）と「妻・女性パートナー」（70.5%）が特に高くなりました。自身の子どもの名前は、夫婦間・パートナー間で決めようと考えていた人が多いようです。次いで高くなったのは、「夫・男性パートナーの親」（4.4%）、「妻・女性パートナーの親」（3.1%）、「姓名判断鑑定士」（1.4%）でした。

年代別にみると、20代と30代では「妻・女性パートナー」（20代77.9%、30代79.2%）、40代以上では「夫・男性パートナー」（40代77.1%、50代76.7%、60代76.8%）が最も高くなりました。

◆子どもの名前を決める際に、名前候補を出した人（複数回答形式） 対象：子どもがいる方



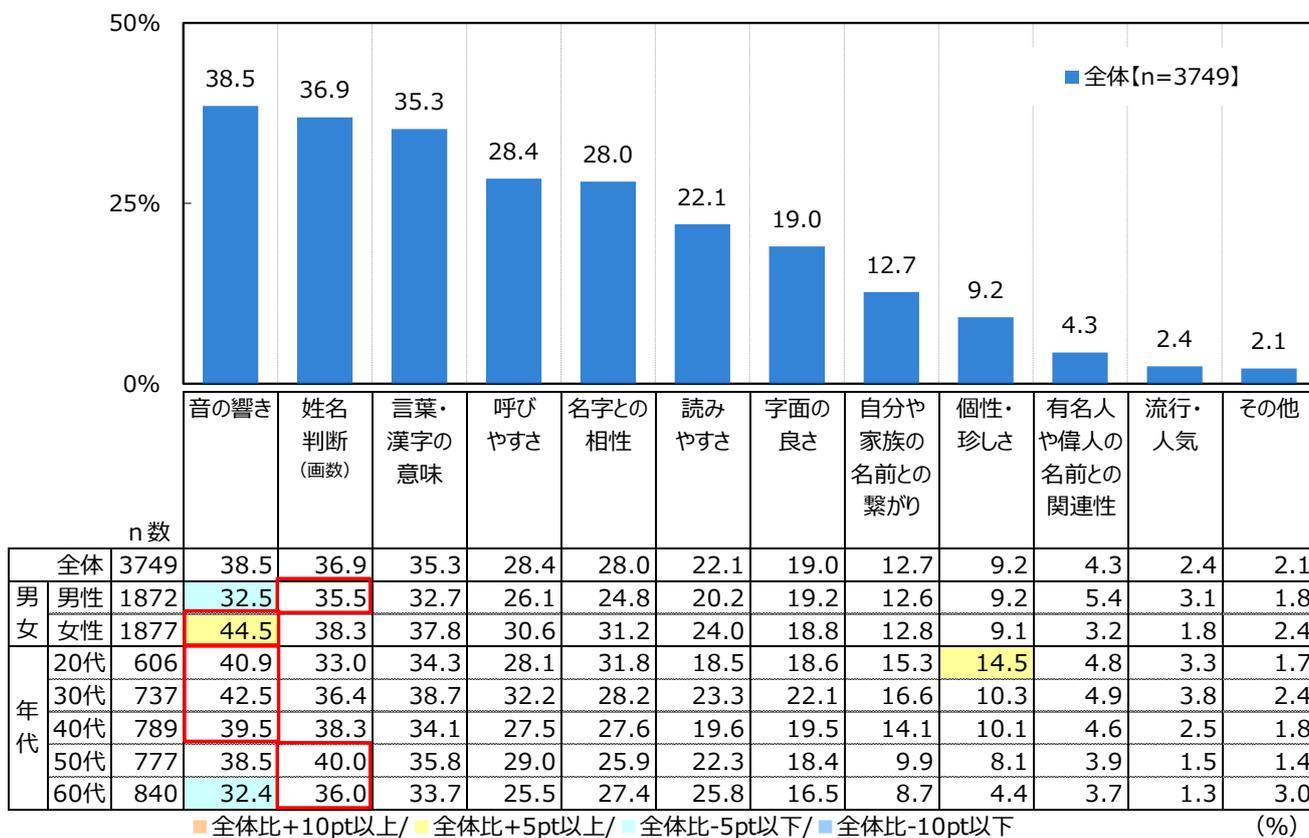
・子どもの名前を決める際に重視したこと 1位「音の響き」2位「姓名判断（画数）」3位「言葉・漢字の意味」

また、子どもの名前を決める際に重視したことを聞いたところ、「音の響き」（38.5%）が最も高くなり、「姓名判断（画数）」（36.9%）、「言葉・漢字の意味」（35.3%）、「呼びやすさ」（28.4%）、「名字との相性」（28.0%）が続きました。

男女別にみると、男性では「姓名判断（画数）」（35.5%）が1位、女性では「音の響き」（44.5%）が1位でした。

年代別にみると、20代から40代では「音の響き」（20代40.9%、30代42.5%、40代39.5%）、50代と60代では「姓名判断（画数）」（50代40.0%、60代36.0%）が1位でした。

◆子どもの名前を決める際に重視したこと（複数回答形式） 対象：子どもがいる方



都道府県別にみると、茨城県と神奈川県では「呼びやすさ」が1位でした。

◆子どもの名前を決める際に重視したこと（複数回答形式） 対象：子どもがいる方
 ※都道府県別の1位を表示

北海道 (n=75)	音の響き/姓名判断 (回数) /言葉・漢字の意味
青森県 (n=75)	音の響き
岩手県 (n=85)	言葉・漢字の意味
宮城県 (n=81)	音の響き
秋田県 (n=77)	音の響き
山形県 (n=75)	音の響き
福島県 (n=80)	姓名判断 (回数)
茨城県 (n=78)	音の響き/呼びやすさ
栃木県 (n=80)	言葉・漢字の意味
群馬県 (n=79)	音の響き
埼玉県 (n=82)	姓名判断 (回数)
千葉県 (n=77)	音の響き/姓名判断 (回数)
東京都 (n=79)	音の響き/言葉・漢字の意味
神奈川県 (n=74)	呼びやすさ
新潟県 (n=83)	言葉・漢字の意味
富山県 (n=78)	音の響き
石川県 (n=82)	姓名判断 (回数)
福井県 (n=79)	姓名判断 (回数)
山梨県 (n=76)	音の響き
長野県 (n=83)	音の響き
岐阜県 (n=83)	姓名判断 (回数)
静岡県 (n=83)	言葉・漢字の意味
愛知県 (n=78)	姓名判断 (回数)
三重県 (n=75)	姓名判断 (回数)

滋賀県 (n=85)	音の響き
京都府 (n=76)	言葉・漢字の意味
大阪府 (n=73)	音の響き
兵庫県 (n=79)	音の響き/言葉・漢字の意味
奈良県 (n=79)	言葉・漢字の意味
和歌山県 (n=88)	音の響き
鳥取県 (n=79)	音の響き
島根県 (n=88)	音の響き
岡山県 (n=86)	姓名判断 (回数)
広島県 (n=78)	姓名判断 (回数)
山口県 (n=76)	音の響き
徳島県 (n=78)	言葉・漢字の意味
香川県 (n=87)	音の響き
愛媛県 (n=70)	姓名判断 (回数) /言葉・漢字の意味
高知県 (n=65)	音の響き/姓名判断 (回数)
福岡県 (n=82)	姓名判断 (回数)
佐賀県 (n=80)	姓名判断 (回数)
長崎県 (n=84)	音の響き
熊本県 (n=83)	姓名判断 (回数)
大分県 (n=82)	音の響き
宮崎県 (n=85)	音の響き/姓名判断 (回数)
鹿児島県 (n=85)	音の響き
沖縄県 (n=84)	音の響き

**“子育てあるある” 子どもが幼いときに、自身が経験したことがあるものは？ 1位「我が子が一番だと思う」
2位「子どもが好きなものに詳しくなる」3位「どんなに疲れていても子どもの顔を見ると疲れが吹き飛ぶ」
男性では『二人だけの秘密だよ』と約束したことを子どもにバラされる」が TOP10 にランクイン**

続いて、“子育てあるある”について質問しました。

子どもが幼いときに、自身が経験したことがあるものを聞いたところ、1位「我が子が一番だと思う（かわいい・かっこいい・優秀など）」（43.4%）、2位「子どもが好きなものに詳しくなる（アニメ・ゲームなど）」（36.6%）、3位「どんなに疲れていても子どもの顔を見ると疲れが吹き飛ぶ」（36.2%）、4位「子どもの寝かしつけで先に寝てしまう」（29.5%）、5位「自身の口癖が子どもにうつる」（28.7%）となりました。

男女別にみると、男性・女性とも1位は「我が子が一番だと思う（かわいい・かっこいい・優秀など）」（男性 35.5%、女性 51.3%）で、男性では「どんなに疲れていても子どもの顔を見ると疲れが吹き飛ぶ」（32.1%）が2位、「子どもが好きなものに詳しくなる（アニメ・ゲームなど）」（29.0%）が3位、女性では「子どもが好きなものに詳しくなる（アニメ・ゲームなど）」（44.2%）が2位、「どんなに疲れていても子どもの顔を見ると疲れが吹き飛ぶ」（40.3%）が3位でした。

また、男性では8位に『二人だけの秘密だよ』と約束したことを子どもにバラされる」（9.0%）、女性では10位に「子どもが勝手にスマホを触りロックが掛かってしまう」（9.2%）が挙がりました。

◆子どもが幼いときに、自身が経験したことがあるもの（複数回答形式） ※上位10位までを表示
対象：子どもがいる方

	全体【n=3749】	%
1位	我が子が一番だと思う（かわいい・かっこいい・優秀など）	43.4
2位	子どもが好きなものに詳しくなる（アニメ・ゲームなど）	36.6
3位	どんなに疲れていても子どもの顔を見ると疲れが吹き飛ぶ	36.2
4位	子どもの寝かしつけで先に寝てしまう	29.5
5位	自身の口癖が子どもにうつる	28.7
6位	部屋の片付けをあきらめる	26.9
7位	子どもの工作作品を捨てられず自宅がゴミ屋敷のようになる	16.1
8位	大きくなったらパパ・ママと結婚すると言われる	10.1
9位	抱っこしている子どもの靴がなくなる	8.7
10位	『二人だけの秘密だよ』と約束したことを子どもにバラされる	8.6

男性【n=1872】			女性【n=1877】		
		%			%
1位	我が子が一番だと思う（かわいい・かっこいい・優秀など）	35.5	1位	我が子が一番だと思う（かわいい・かっこいい・優秀など）	51.3
2位	どんなに疲れていても子どもの顔を見ると疲れが吹き飛ぶ	32.1	2位	子どもが好きなものに詳しくなる（アニメ・ゲームなど）	44.2
3位	子どもが好きなものに詳しくなる（アニメ・ゲームなど）	29.0	3位	どんなに疲れていても子どもの顔を見ると疲れが吹き飛ぶ	40.3
4位	子どもの寝かしつけで先に寝てしまう	23.8	4位	部屋の片付けをあきらめる	38.4
5位	自身の口癖が子どもにうつる	21.9	5位	自身の口癖が子どもにうつる	35.5
6位	部屋の片付けをあきらめる	15.4	6位	子どもの寝かしつけで先に寝てしまう	35.3
7位	子どもの工作作品を捨てられず自宅がゴミ屋敷のようになる	12.1	7位	子どもの工作作品を捨てられず自宅がゴミ屋敷のようになる	20.2
8位	『二人だけの秘密だよ』と約束したことを子どもにバラされる	9.0	8位	大きくなったらパパ・ママと結婚すると言われる	11.3
9位	大きくなったらパパ・ママと結婚すると言われる	8.9	9位	抱っこしている子どもの靴がなくなる	9.4
10位	抱っこしている子どもの靴がなくなる	8.0	10位	子どもが勝手にスマホを触りロックが掛かってしまう	9.2

◆親への感謝について

・親に感謝していること 1位「働いて養ってくれた」2位「産んでくれた」3位「食事や生活の世話をしてくれた」

男性では「色々な経験をさせてくれた」「自分を理解してくれた」、

女性では「心の支えになってくれた」「習い事や塾に通わせてくれた」が TOP10 にランクイン

親への感謝について質問しました。

全回答者（4,700名）に、親に感謝していることを聞いたところ、1位は「働いて養ってくれた」（46.4%）でした。自分のために仕事も育児・子育てもしてくれたことに対し、感謝してもしきれないと感じている人が多いのではないのでしょうか。次いで、2位「産んでくれた」（44.2%）、3位「食事や生活の世話をしてくれた」（41.7%）、4位「やりたいことをやらせてくれた」（35.6%）、5位「進学させてくれた」（34.7%）となりました。

男女別にみると、男性では「働いて養ってくれた」（42.0%）が1位、女性では「産んでくれた」（51.5%）が1位でした。

また、男性では7位に「色々な経験をさせてくれた」（24.0%）、9位に「自分を理解してくれた」（21.9%）、女性では8位に「心の支えになってくれた」（35.5%）、9位に「習い事や塾に通わせてくれた」（30.5%）が挙がりました。

◆親に感謝していること（複数回答形式） ※上位10位までを表示

	全体【n=4700】	%
1位	働いて養ってくれた	46.4
2位	産んでくれた	44.2
3位	食事や生活の世話をしてくれた	41.7
4位	やりたいことをやらせてくれた	35.6
5位	進学させてくれた	34.7
6位	愛情深く接してくれた	31.3
7位	病気や怪我の看病してくれた	29.0
8位	心の支えになってくれた	27.6
9位	色々な経験をさせてくれた	26.7
10位	ピンチのときに助けてくれた	25.9

男性【n=2350】			女性【n=2350】		
		%			%
1位	働いて養ってくれた	42.0	1位	産んでくれた	51.5
2位	産んでくれた	36.8	2位	働いて養ってくれた	50.8
3位	食事や生活の世話をしてくれた	34.3	3位	食事や生活の世話をしてくれた	49.1
4位	進学させてくれた	33.7	4位	やりたいことをやらせてくれた	37.9
5位	やりたいことをやらせてくれた	33.4	5位	愛情深く接してくれた	36.7
6位	愛情深く接してくれた	25.9	6位	進学させてくれた	35.7
7位	色々な経験をさせてくれた	24.0		病気や怪我の看病してくれた	35.7
8位	病気や怪我の看病してくれた	22.4	8位	心の支えになってくれた	35.5
9位	自分を理解してくれた	21.9	9位	習い事や塾に通わせてくれた	30.5
10位	ピンチのときに助けてくれた	21.8	10位	ピンチのときに助けてくれた	30.0

◆親孝行について

・これまでに自分が親にした親孝行 1位「プレゼントをする」、女性では「話し相手になる」が高い傾向

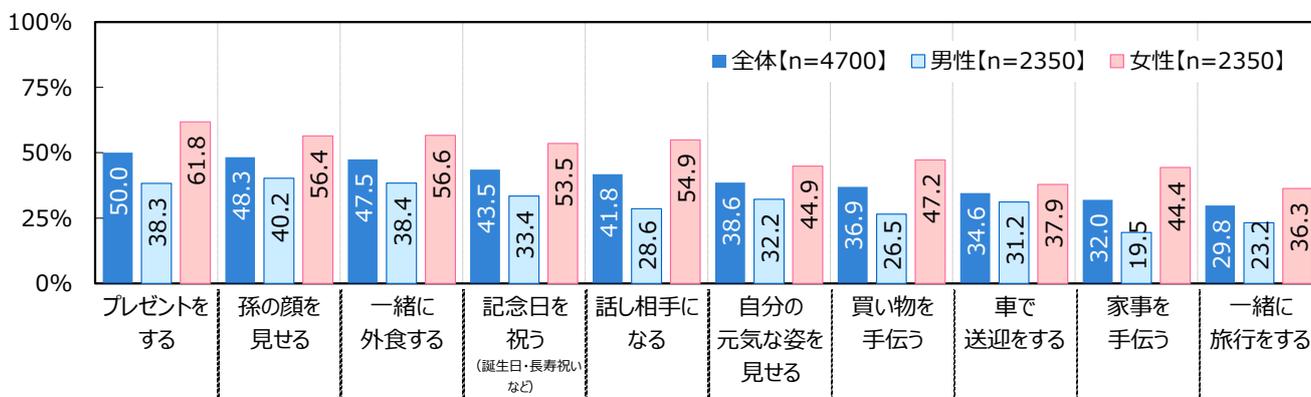
・これから親にしたいと思う親孝行 20代では「一緒に旅行をする」、30代では「孫の顔を見せる」が1位

親孝行について質問しました。

全回答者（4,700名）に、これまでにした親孝行を聞いたところ、「プレゼントをする」（50.0%）が最も高くなり、「孫の顔を見せる」（48.3%）、「一緒に外食する」（47.5%）、「記念日を祝う（誕生日・長寿祝いなど）」（43.5%）、「話し相手になる」（41.8%）が続きました。

男女別にみると、女性では「話し相手になる」が54.9%と、男性（28.6%）と比べて25ポイント以上高くなりました。

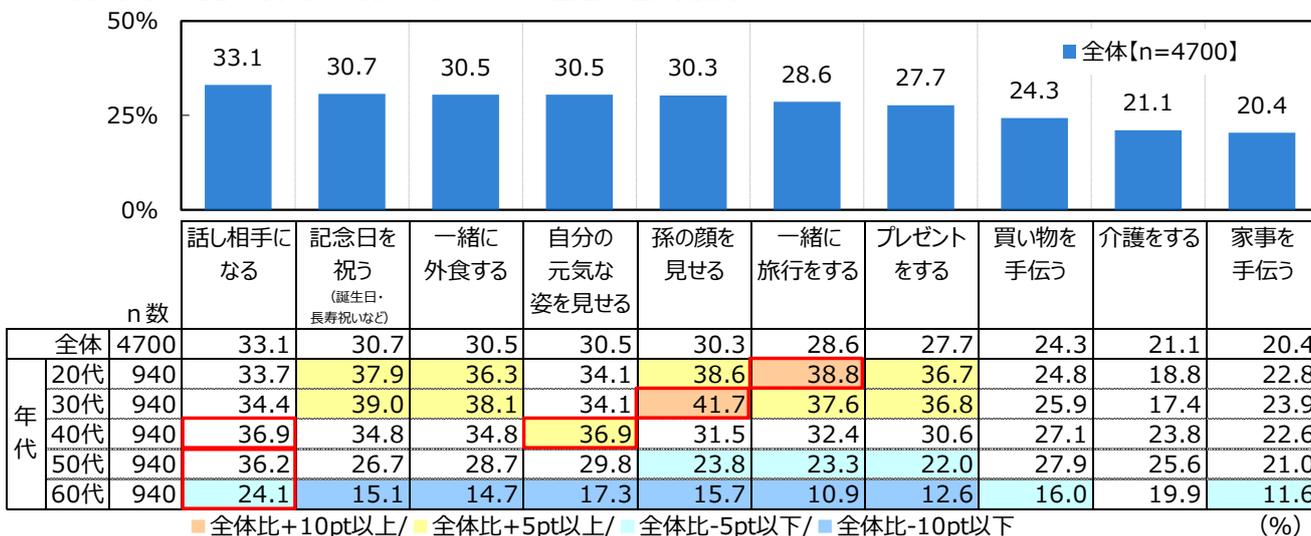
◆これまでにした親孝行（複数回答形式） ※上位10位までを表示



これから親にしたいと思う親孝行を聞いたところ、「話し相手になる」（33.1%）が最も高くなり、「記念日を祝う（誕生日・長寿祝いなど）」（30.7%）、「一緒に外食する」「自分の元気な姿を見せる」（いずれも30.5%）、「孫の顔を見せる」（30.3%）が続きました。

年代別にみると、20代では「一緒に旅行をする」（38.8%）、30代では「孫の顔を見せる」（41.7%）、40代では「話し相手になる」と「自分の元気な姿を見せる」（いずれも36.9%）、50代と60代では「話し相手になる」（50代36.2%、60代24.1%）が1位でした。

◆これから親にしたいと思う親孝行（複数回答形式） ※上位10位までを表示



・子どもにしてほしい親孝行 男性 1 位「元気な姿を見せてくれる」、女性 1 位「話し相手になってくれる」

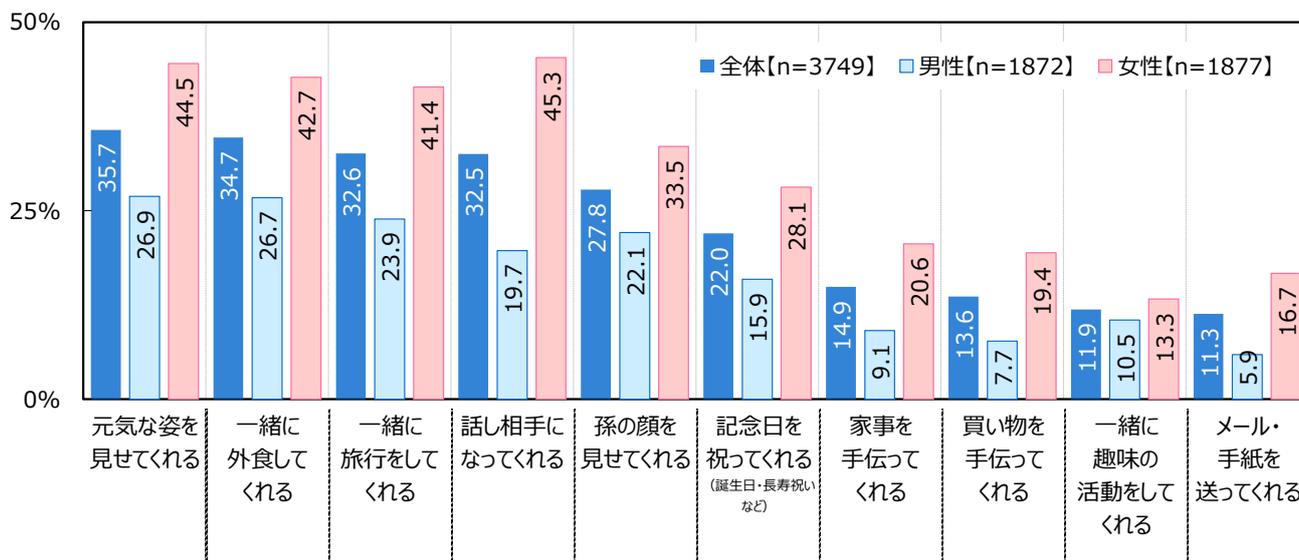
次に、自身の子どもにしてもらおう親孝行について質問しました。

子どもがいる方（3,749 名）に、子どもにしてほしいと思う親孝行を聞いたところ、「元気な姿を見せてくれる」（35.7%）が最も高くなりました。元気でいる様子を見られるだけで幸せだと感じる人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「一緒に外食してくれる」（34.7%）、「一緒に旅行をしてくれる」（32.6%）、「話し相手になってくれる」（32.5%）、「孫の顔を見せてくれる」（27.8%）でした。

男女別にみると、男性では「元気な姿を見せてくれる」（26.9%）が 1 位、女性では「話し相手になってくれる」（45.3%）が 1 位でした。

◆子どもにしてほしいと思う親孝行（複数回答形式） ※上位10位までを表示

対象：子どもがいる方



◆“家族愛”とエンタメ

・家族愛が強いと思う芸能人 男性芸能人 1位「ヒロミさん」、女性芸能人 1位「辻希美さん」

・家族愛が強いと思うスポーツ選手 男性選手 1位「長友佑都さん」、女性選手 1位「北斗晶さん」

・家族愛が強いと思うアニメキャラ 男性キャラ 1位「竈門炭治郎」、女性キャラ 1位「フグ田サザエ」

最後に、全回答者（4,700名）に、“家族愛が強い”というイメージに合うと思う人物やアニメキャラ、家族愛を感じる曲について質問しました。

“家族愛が強い”というイメージに合う【芸能人】についてみると、男性芸能人では「ヒロミさん」（702名）がダントツとなり、2位「杉浦太陽さん」（285名）、3位「DAIGOさん」（188名）、女性芸能人では1位「辻希美さん」（574名）、2位「北斗晶さん」（270名）、3位「松本伊代さん」（205名）と、ヒロミ・松本伊代夫妻、杉浦太陽・辻希美夫妻がそれぞれTOP3に挙がりました。

“家族愛が強い”というイメージに合う【スポーツ選手（引退した人含む）】についてみると、男性スポーツ選手では「長友佑都さん」（451名）がダントツ、2位「大谷翔平さん」（172名）、3位「イチローさん」（143名）、女性スポーツ選手では1位「北斗晶さん」（215名）、2位「浜口京子さん」（197名）、3位「谷亮子さん」（162名）となりました。

“家族愛が強い”というイメージに合う【アニメキャラ】についてみると、男性アニメキャラでは1位「竈門炭治郎（鬼滅の刃）」（327名）、2位「野原ひろし（クレヨンしんちゃん）」（316名）、3位「フグ田マスオ（サザエさん）」（259名）、女性アニメキャラでは「フグ田サザエ（サザエさん）」（673名）がダントツとなり、2位「野原みさえ（クレヨンしんちゃん）」（297名）、3位「竈門禰豆子（鬼滅の刃）」（173名）と、竈門炭治郎・竈門禰豆子兄妹、野原ひろし・野原みさえ夫妻、フグ田マスオ・フグ田サザエ夫妻がTOP3を占めました。

◆“家族愛が強い”というイメージに合うと思う人物・アニメキャラ（各自由回答形式）

全体【n=4700】 ※上位10位までを表示

男性芸能人			男性スポーツ選手（引退した人含む）			男性アニメキャラ		
名	名	名	名	名	名	名	名	名
1位	ヒロミ	702	1位	長友佑都	451	1位	竈門炭治郎（鬼滅の刃）	327
2位	杉浦太陽	285	2位	大谷翔平	172	2位	野原ひろし（クレヨンしんちゃん）	316
3位	DAIGO	188	3位	イチロー	143	3位	フグ田マスオ（サザエさん）	259
4位	つるの剛士	163	4位	佐々木健介	120	4位	磯野波平（サザエさん）	122
5位	木村拓哉	108	5位	田中将大	93	5位	孫悟空（ドラゴンボール）	117
6位	高橋英樹	97	6位	ダルビッシュ有	83	6位	バカボンのパパ（天才バカボン）	87
7位	佐々木健介	74	7位	大久保嘉人	70	7位	モンキー・D・ルフィ（ONE PIECE）	75
8位	所ジョージ	63	8位	西田有志	54	8位	野原しんのすけ（クレヨンしんちゃん）	72
9位	藤岡弘	62	9位	羽生結弦	52	9位	野比のび太（ドラえもん）	62
10位	庄司智春	60	10位	アニマル浜口	51	10位	ドラえもん（ドラえもん）	60
女性芸能人			女性スポーツ選手（引退した人含む）			女性アニメキャラ		
名	名	名	名	名	名	名	名	名
1位	辻希美	574	1位	北斗晶	215	1位	フグ田サザエ（サザエさん）	673
2位	北斗晶	270	2位	浜口京子	197	2位	野原みさえ（クレヨンしんちゃん）	297
3位	松本伊代	205	3位	谷亮子	162	3位	竈門禰豆子（鬼滅の刃）	173
4位	北川景子	202	4位	浅田真央	110	4位	磯野フネ（サザエさん）	113
5位	藤本美貴	117	5位	吉田沙保里	96	5位	さくらももこ（ちびまる子ちゃん）	81
6位	工藤静香	69	6位	古賀紗理那	66	6位	ナミ（ONE PIECE）	48
7位	榎原郁恵	65	7位	澤穂希	60	7位	バカボンのママ（天才バカボン）	47
8位	杏	62	8位	丸山桂里奈	56	8位	チチ（ドラゴンボール）	43
9位	松嶋菜々子	48	9位	潮田玲子	49	9位	源静香（ドラえもん）	37
10位	仲里依紗	34	10位	福原愛	36	10位	毛利蘭（名探偵コナン）	24

“家族愛が強い”というイメージに合う【芸能人】を前回の調査結果とあわせてみると、男性芸能人では「ヒロミさん」と「杉浦太陽さん」が2年連続でTOP2、女性芸能人では「辻希美さん」と「北斗晶さん」が2年連続でTOP2となりました。

◆“家族愛が強い”というイメージに合うと思う人物・アニメキャラ（各自由回答形式）

全体【n=4700】 ※上位10位までを表示

2022年調査

	男性芸能人	名
1位	ヒロミ	400
2位	杉浦太陽	330
3位	つるの剛士	244
4位	木村拓哉	174
5位	高橋英樹	154
6位	DAIGO	104
7位	三浦友和	89
8位	佐々木健介	76
9位	福山雅治	73
10位	庄司智春	64

	女性芸能人	名
1位	辻希美	642
2位	北斗晶	256
3位	杏	138
4位	榎原郁恵	106
5位	工藤静香	94
6位	北川景子	91
7位	松本伊代	84
8位	藤本美貴	83
9位	仲里依紗	58
10位	松嶋菜々子	47

2023年調査

	男性芸能人	名
1位	ヒロミ	702
2位	杉浦太陽	285
3位	DAIGO	188
4位	つるの剛士	163
5位	木村拓哉	108
6位	高橋英樹	97
7位	佐々木健介	74
8位	所ジョージ	63
9位	藤岡弘	62
10位	庄司智春	60

	女性芸能人	名
1位	辻希美	574
2位	北斗晶	270
3位	松本伊代	205
4位	北川景子	202
5位	藤本美貴	117
6位	工藤静香	69
7位	榎原郁恵	65
8位	杏	62
9位	松嶋菜々子	48
10位	仲里依紗	34

・家族愛を感じる曲 「家族になろうよ」がダントツ、2位「home」3位「ありがとう」4位「虹」5位「アンマー」「糸」

家族愛を感じる曲を聞いたところ、「家族になろうよ（福山雅治）」（1,094名）がダントツでした。家族のつながりを大切に思う、家族愛の溢れる歌詞に感動した人が多いのではないのでしょうか。次いで、2位「home（木山裕策）」（116名）、3位「ありがとう（いきものがかり）」（45名）、4位「虹（菅田将暉）」（40名）、5位「アンマー（かりゆし58）」「糸（中島みゆき）」（いずれも37名）となりました。

男女別にみると、男性・女性とも1位は「家族になろうよ（福山雅治）」（順に446名、648名）、2位は「home（木山裕策）」（54名、62名）となり、男性では「ありがとう（いきものがかり）」「アンマー（かりゆし58）」「糸（中島みゆき）」（いずれも15名）が3位、女性では「虹（菅田将暉）」（33名）が3位でした。

年代別にみると、いずれの年代でも1位は「家族になろうよ（福山雅治）」となり、20代では「虹（菅田将暉）」が2位、30代以上では「home（木山裕策）」が2位でした。

◆家族愛を感じる曲（自由回答形式）

※全体と男女別の結果は上位10位、年代別の結果は上位5位までを表示

全体【n=4700】			男性【n=2350】			女性【n=2350】		
名	曲名	名	名	曲名	名	名	曲名	名
1位	家族になろうよ（福山雅治）	1094	1位	家族になろうよ（福山雅治）	446	1位	家族になろうよ（福山雅治）	648
2位	home（木山裕策）	116	2位	home（木山裕策）	54	2位	home（木山裕策）	62
3位	ありがとう（いきものがかり）	45	3位	ありがとう（いきものがかり）	15	3位	虹（菅田将暉）	33
4位	虹（菅田将暉）	40	4位	アンマー（かりゆし58）	15	4位	ありがとう（いきものがかり）	30
5位	アンマー（かりゆし58）	37	5位	糸（中島みゆき）	15	5位	未来へ（Kiroro）	28
6位	糸（中島みゆき）	37	6位	乾杯（長瀬剛）	13	6位	秋桜（山口百恵）	24
7位	未来へ（Kiroro）	36	7位	関白宣言（さだまさし）	13	7位	アンマー（かりゆし58）	22
8位	関白宣言（さだまさし）	27	8位	ヒーロー（FUNKY MONKEY BABYS）	10	8位	糸（中島みゆき）	22
9位	秋桜（山口百恵）	27	9位	未来へ（Kiroro）	8	9位	Family Song（星野源）	20
10位	Family Song（星野源）	22	10位	おふくろさん（森進一）	7	10位	関白宣言（さだまさし）	14
				虹（菅田将暉）	7		手紙（back number）	14

20代【n=940】			30代【n=940】		
名	曲名	名	名	曲名	名
1位	家族になろうよ（福山雅治）	221	1位	家族になろうよ（福山雅治）	222
2位	虹（菅田将暉）	16	2位	home（木山裕策）	30
3位	home（木山裕策）	12	3位	アンマー（かりゆし58）	15
4位	ありがとう（いきものがかり）	8	4位	Family Song（星野源）	13
	アンマー（かりゆし58）	8	5位	虹（菅田将暉）	11
	手紙（back number）	8			

40代【n=940】			50代【n=940】			60代【n=940】		
名	曲名	名	名	曲名	名	名	曲名	名
1位	家族になろうよ（福山雅治）	218	1位	家族になろうよ（福山雅治）	266	1位	家族になろうよ（福山雅治）	167
2位	home（木山裕策）	33	2位	home（木山裕策）	21	2位	home（木山裕策）	20
3位	アンマー（かりゆし58）	12	3位	糸（中島みゆき）	10	3位	関白宣言（さだまさし）	19
4位	アイノカタチ feat.HIDE(GReeeeN)（MISIA）	7	4位	未来へ（Kiroro）	10	4位	秋桜（山口百恵）	18
	未来へ（Kiroro）	7	5位	ありがとう（いきものがかり）	9	5位	ありがとう（いきものがかり）	16

注：本調査レポートの百分率表示は小数点第2位で四捨五入の丸め計算を行っているため、内訳の計と合計が一致しない場合や、内訳を合計しても100%とならない場合があります。

《調査概要》

- ◆調査タイトル : 家族愛に関する調査 2023
- ◆調査対象 : ネットエイジアサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
20歳～69歳の既婚（事実婚含む）男女
- ◆調査期間 : 2023年10月11日～10月17日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 4,700名（有効回答から、各都道府県で男女・年代が均等になるように抽出）
（内訳）

男性	女性	計
2,350	2,350	4,700

- ◆調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

■■ 会社概要 ■■

- 会社名 : ジブラルタ生命保険株式会社 : The Gibraltar Life Insurance Co., Ltd.
- 本社所在地 : 〒100-8953 東京都千代田区永田町 2-13-10
- 代表者名 : 代表取締役社長 兼 CEO 添田 毅司（そえだ たけし）
- 営業開始 : 2001年4月3日
- 営業種目 : 個人保険、個人年金保険、団体保険、団体年金保険、再保険



**本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。**

■本リリースに関するお問い合わせ先

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム 【Tel】 03-5501-6563